Panasonic

取扱説明書 工事説明付き

カラーテレビカメラ

品番 **WV-CW960**

もくじ

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4ページ～6ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本機は、1/4型CCDを搭載したカラーテレビカメラと30倍ズームレンズ、およびプリセット、水平・垂直回転台を一体化したドーム型の監視カメラです。おもな特長は次のとおりです。

●スーパーダイナミックⅢ機能（SUPER-DⅢ）を採用

照度差の激しい被写体も鮮明に撮影できます。（⇒24ページ）

●新開発DSPにより、高感度を実現

新開発のノイズリダクションを搭載することにより、カラーモード 0.5 lx、白黒モード 0.04 lx を実現しています。

●夜間白黒切替機能を搭載

低照度時、自動的に白黒モードへ切り替えることができ、夜間でも鮮明に撮影できます。

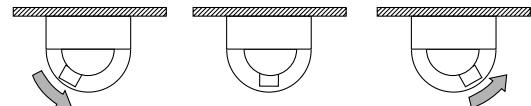
●デジタルフリップ機能搭載

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向 0°～180°をワンモーションで回転することができます。この機能により、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。

デジタルフリップ機能の動作

①下方向へ。

②真下付近（135°地点）で映像の上下を瞬時に切り替え。

③上方向へ。

・・・操作は、システムコントローラーのジョイスティックを下方向に倒しておくだけ。

●プライバシーゾーン機能搭載

撮影する場所（画面）の中に写したくない部分がある場合、その部分だけを写さないようにすることができます。

●パトロール機能搭載

手動で操作した内容を記憶し、再現する機能です。たとえば、監視したい人の流れをあらかじめ予測してカメラ動作を記憶しておき、その内容を再現することにより、複雑な動きを自動で行います。

●カメラポジションを記憶可能

最大256か所、カメラポジションを設定することができます。設定したカメラポジションは、システムコントローラーからプリセット番号をテンキー入力して呼び出すことで、その映像をモニターに表示できます。

●モーションディテクター機能

監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、アラーム信号を送出することができます。この機能により、夜間の侵入に反応してVTR録画するといったシステムを構築することができます。

●ファンヒーター内蔵で、ドームカバーに雪や霜が付着するのを防止※

●JIS防水保護等級6級 IP66防暴噴流形（IEC60529/JIS C 0920）適合の防水仕様

※周囲温度が−40 ℃以下の環境では使用できません。また、−40 ℃以上の環境であっても、風雪が強い場所でご使用になると解凍できない場合があります。常時通電し、カメラの内部温度が−10 ℃以上になる環境でご使用ください。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書） 1冊
保証書 1式

以下の付属品は、取り付け工事に使用します。

8Pアラームケーブル 1本
4Pアラームケーブル 1本
フロント／リアサンシールド 1組
フロント／リアサンシールド固定ねじ
.... 2本（※1本は予備ねじ）
防水キャップ 3個

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。

② お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など。

③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。

④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害。

⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。

⑥ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※ 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

可燃性雰囲気中で使用しない

禁止

爆発し、けがの原因になります。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異物を入れない

禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

回転動作中は本体部に手を触れない

禁止

回転部に指をはさみ、けがの原因になります。

- ドームカバーは付けた状態で使用してください。

⚠警告

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

禁止

取り付け部が劣化して、落下などの事故の原因になります。

振動のないところに設置する

取り付けねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因になります。

高所に設置しない

禁止

16 m以上の高所では、思わぬ風速の影響などを受け、落下などの事故の原因になります。

落下防止対策を施す

落下によるけがの原因になります。

- 専用の取付金具に安全ワイヤーを必ず取り付けて使用してください。

防雪対策を施す

積雪の多い地域では、雪の重みで落下してけがの原因になります。

- ひさしなどで防雪してください。

落とさない、強い衝撃を与えない

禁止

けがや火災の原因になります。

取り付け場所に合わせた取付金具を使用する

落下によるけがの原因になります。

- 設置の際は、別売りの専用の取付金具を使用してください。

総質量に耐える場所に取り付ける

取り付け場所の強度が不十分だと、落下や転倒などで、けがの原因になります。

- 総質量に耐える材質・構造の所に、水平に取り付けてください。

ねじや固定機構はしっかりと締め付ける

締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。

定期的に点検する

金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。

- 点検は販売店に依頼してください。

人や物がぶつからない高さに取り付ける

落下などの事故の原因になります。

ぶら下がらない、足場代わりにしない

禁止

落下などの事故の原因になります。

⚠警告

アースを確実に取り付ける

アースは確実に行ってご使用ください。アースを取り付けないと、故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。

- アース工事は販売店にご相談ください。（アース工事費は本製品の価格には含まれていません）

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源コードを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードの修理は販売店にご相談ください。

配線は、電源を切ってから行う

感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因になります。

⚠注意

お手入れのときは電源を切る

感電の原因になります。

使用上のお願い

●本機に電源スイッチはありません
カメラの電源を入/切できるように、電源工事を行ってください。(⇒10ページ)

●使用中、画面に「OVER HEAT」と表示されたときは
カメラ内部が異常に高温になっています。ただちにカメラの電源を切り、販売店へご連絡ください。

●使用中、画面に「WARM UP-PLEASE WAIT. **」と表示されたときは
カメラ内部が低温になっています。
本機のヒーターによりカメラ内部が暖まるまで、一定時間お待ちください。
待ち時間の目安として“**”に数値が表示され、カウントダウンします。カメラ内部が暖まると数値が“0”になり画面上の表示が消えます。そのあと、カメラリセットが行われ、正常に動作します。

●長時間安定した性能でお使いいただくために
高温・高湿で長時間連続使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

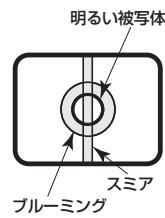
●ちゅう房など蒸気や油分の多いところでの使用は避けてください

●カメラのクリーニングについて
長期間使用しているとモニターにノイズが入ったり、プリセットポジションがずれてくることがあります。
カメラのクリーニング機能(⇒49ページ)を使用していてもこのような状態になるときは、特別設定メニューの「REFRESH」(⇒58ページ)を実行してください。

●ドームカバーに強い衝撃を与えないでください
破損、浸水の原因となります。

●本機は吊り下げ専用です
据え置きで使用しないでください。故障の原因になります。

●CCD色フィルターの焼き付きについて
画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

●強い光にカメラを向けないでください
画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング(強い光の周りがにじむ現象)、スミア(強い光の上下に縦縞が発生する現象)を生じることがあります。

●カメラ真下方向の画像について
画面中心に円形のものが映りますが、ドームカバーの成形によるもので故障ではありません。

●取り扱いはていねいに
落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

●消耗品について
次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお、寿命時間は、使用環境、使用条件により変わります。

・レンズ部　　　：約370万動作
　　　　　　　　　(約20 000時間)
・スリップリング：約240万動作
　　　　　　　　　(約20 000時間)
・冷却ファン　　：約45 000時間

●お手入れは
電源を切って乾いた布でふいてください。
汚れがひどいときは、台所用洗剤(中性)を水で薄め、柔らかい布にしみこませ、固く絞り、軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分をふき取ってください。
レンズの清掃の際は販売店にご相談ください。(清掃中は、レンズ動作は行えません。)
ドームカバー、レンズが汚れると、画質劣化の原因となります。レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラの清掃に使うもの)で行ってください。
ドームカバーは特に傷が付きやすいので、柔らかい布で軽くふいてください。

●カメラの設定情報のダウンロード（保存）、アップロード（回復）について

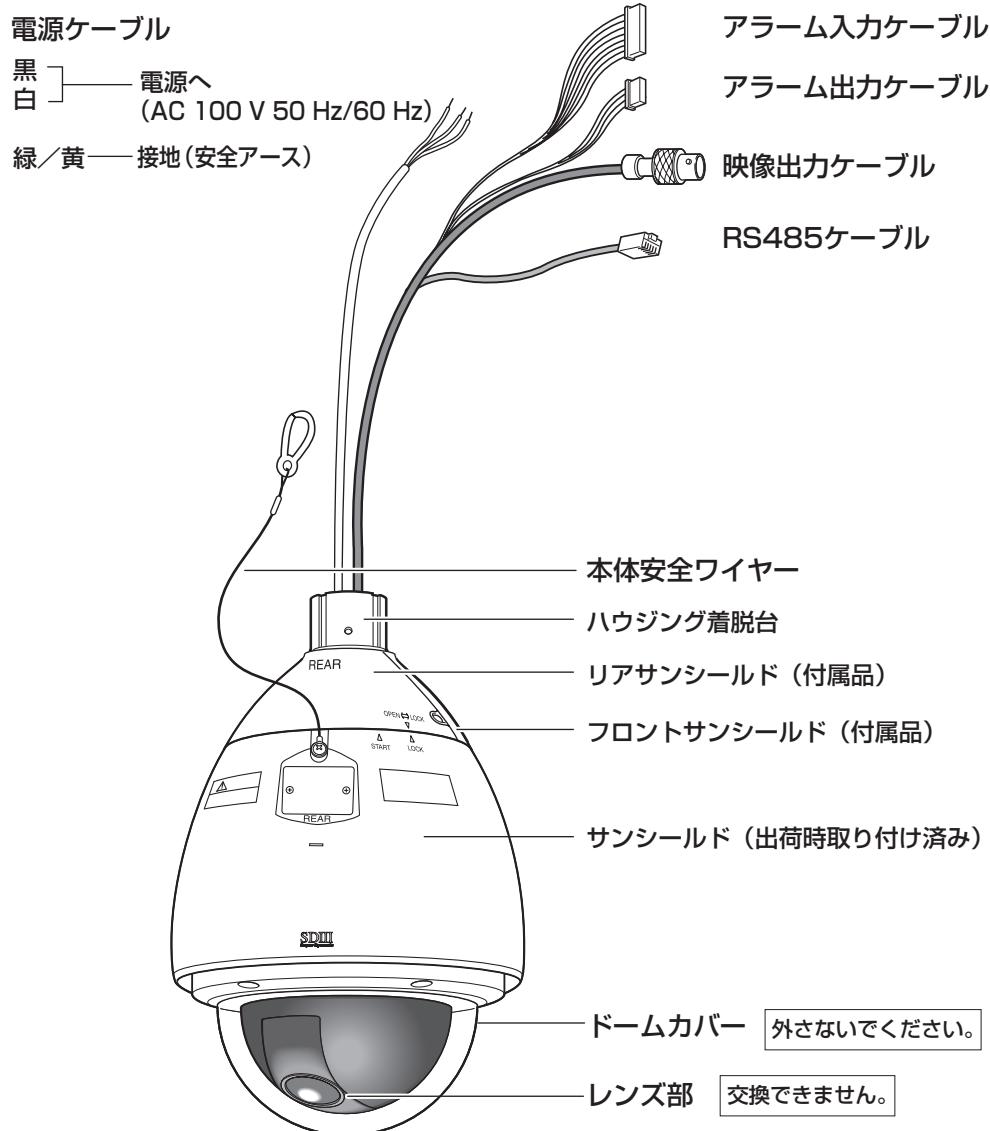
システムコントローラーなどにダウンロードできるカメラの設定情報には、従来のプリセットポジション設定に加えて、メニューの設定を含みます。ただし、次の項目は含みません。
・パトロール機能（⇒42ページ）
・エリアタイトル機能（⇒46ページ）
・傷補正位置（⇒57ページ）
・RS485設定（⇒20ページ）
・パスワード設定（⇒61ページ）
システムコントローラーなどにカメラの設定情報をダウンロードするとき、およびダウンロードしたデータをカメラにアップロードするときは、なるべくカメラを動かさず、動きの少ない方向（壁など）を撮影してください。

●自己診断機能について

ご使用中、外来ノイズなどの影響により異常動作を30 秒以上続けると、カメラ自身が自動的にリセット動作を行い正常な動作に復帰します。リセット動作は、電源投入時と同様の初期化動作を行いますが、頻繁に発生する場合は、カメラの設置環境で外来ノイズが多く発生している可能性があります。カメラの故障原因になりますので、早めに販売店にご相談ください。

●機器の組み合わせについて

機器の組み合わせは制限があります。仕様、外観寸法をよく確認してから接続してください。詳しくは、「Panasonic CCTVシステム総合カタログ」を参照するか、販売店にご相談ください。

各部の名前

常に最良の状態でお使いいただくために

・本機は「スリップリング」と呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、パン（水平回転）操作時に画質の劣化やノイズが発生することがあります。

常に最良の状態を保つために、クリーニング機能（⇒49ページ）を「ON」にしてお使いください。

・スリップリングのクリーニングを行っても画質の劣化やノイズを解消できないときは、スリップリングの寿命が考えられますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

設置上のお願い

⚠警告

●設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面などをよく選んで、設置してください。**天井や壁などに取り付けて使用する場合、本体の不良による落下事故以外の、取り付け方法の不備などによる落下事故に対する責任は一切弊社は負いかねますので、取り付け場所や取り付け方法の設計は十分な注意をお願いします。強度が不足の場合は、十分な補強をし、安全を確認して取り付けてください。**

●**設置工事を始める前に、落下防止を施してください。**設置する際は、落下を防止するため、本機の安全ワイヤーを取付金具またはアンカーボルトなどに取り付けてから行ってください。

●カメラの取り付け場所について

・強度が十分あるコンクリート天井や壁面などに取り付けてください。

●吊り下げ／取付金具について

・天井から吊り下げて取り付ける場合は、別売品のカメラ天井吊り下げ金具（WV-Q121）を使用してください。取付金具を現地で製作する場合は、別売品のパイプ取付金具（WV-Q123）を使用してください。

・壁に取り付ける場合は、別売品のカメラ壁取付金具（WV-Q122）を使用してください。

・吊り下げ／壁／パイプ取付金具を天井または壁面に取り付けるためのボルトは付属されていません。取り付け場所の材質および強度、総質量を考慮し、別途ご用意願います。

●電源について

・アース接続は、必ず電源コードを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源コードを主電源から切り離してから行ってください。

・電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

（1）電源制御ユニットを介して接続する。

（2）3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用する。

●アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。

アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）をご確認ください。

●本機は吊り下げ専用です。据え置きや傾けた状態で使用すると、正常に動作しなかったり、寿命が短くなる場合があります。

●カメラは水平（ドーム下向き）に取り付けてください。

●次のような場所での設置およびご使用はできません。

・プールなど、薬剤を使用する場所

・ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所

・放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所

・海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所

・使用周囲温度（−40 ℃〜+50 ℃）を超える場所

・車両や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません。）

・エアコンの室外機付近など、急激に温度が変化する場所（ドームカバーが曇ったり、結露する場合があります。）

●カメラの電源工事について

本機には電源スイッチがありません。電源工事の際は、カメラの電源を入／切できるようにしてください。本機は、電源投入時にセルフクリーニング機能（パン・チルト・ズーム・フォーカス動作）が働きます。（⇒10ページ）

●ノイズ障害が考えられる場合

AC 100 V以上の電力線（電灯線）と1 m以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行ってください。（金属管は必ず大地アースを行ってください。）

重要！

本機のRS485ケーブルを使用して、システムコントローラーから本機を制御（回転台操作など）する場合、本機を設置する前に、本機のDIPスイッチでユニット番号と通信方式を設定する必要があります。（⇒12ページ）
この設定を行わないと、システムコントローラーからの制御が行えず、再設置作業が必要となります。設置前に、必ずご確認ください。

●湿度に注意してください

本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまりドームカバー内が曇ることがあります。

●凍結防止ヒーターについて

寒冷地でもご使用いただけるよう、本機内部にヒーターが組み込まれています。ヒーターは、内部温度が10 ℃以下になると自動的に動作します。ただし、−40 ℃の厳しい環境下では、ドームに付着した雪や霜を解凍できない場合があります。寒冷地でご使用になる場合は、周囲およびカメラの内部温度にご注意ください。

●画像・画質への影響について

・本機にはワイパーの装置が装備されておりません。下記の設置条件においては、画質の低下や画像が見えなくなる場合があります。

（1）降雨の影響
降雨時、風によりドームカバーに雨滴が付着し、画像が見えにくくなる場合があります。

（2）積雪の影響
積雪時、風によりドームカバーに雪が付着する場合があり、付着部分は監視画像が見えなくなります。（付着程度は降雪量、雪質により異なります。）

（3）空気中の粉塵・自動車の排気ガスの影響
設置環境によっては、空気中の粉塵・自動車の排気ガスなどでドームカバーに汚れが付着し、画質が低下する場合があります。

●工事の際に知っておいていただきたいこと

・本機は、電源投入時にセルフクリーニング機能（パン・チルト・ズーム・フォーカス動作）が働きます。
・機器の組み合わせは制限があります。定格、外観寸法をよく確認してから接続してください。詳しくは、「Panasonic CCTVシステム総合カタログ」を参照するか、販売店にご相談ください。

DIPスイッチの設定

本機のRS485ケーブルを使用して、システムコントローラーから本機を制御する場合は、本機のDIPスイッチでユニット番号と通信方式を設定する必要があります。

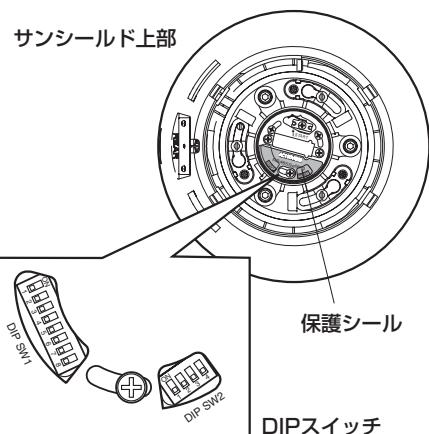
なお、DIPスイッチは壁または天井に本機を取り付ける前に設定してください。

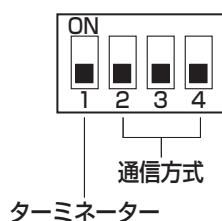
1 **ハウジング着脱台を取り外します**
ハウジング着脱台の外しかたは、設置する別売品の取付金具の工事説明書をご覧ください。

2 **サンシールド上部にある保護シールをはがします**
DIPスイッチの設定が可能となります。
（保護シールは手順4で使用しますので、破棄しないでください。）

3 **DIPスイッチで通信方式およびユニットアドレスを設定します**
通信方式　　　　　：SW2で設定します。
ユニットアドレス　：SW1で設定します。

4 **設置が完了したら、保護シールを元の位置にはり直します**

工事説明

通信方式（DIPスイッチ2）の設定

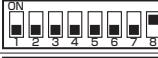
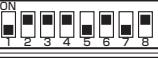
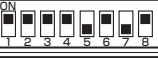
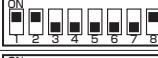
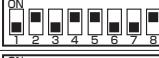
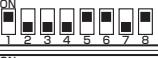
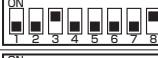
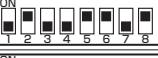
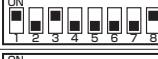
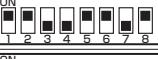
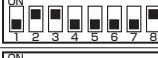
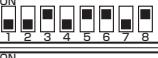
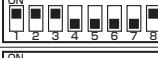
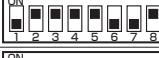
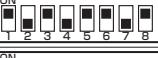
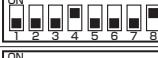
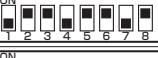
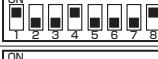
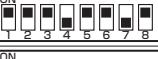
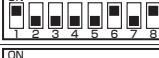
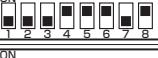
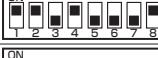
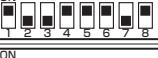
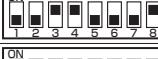
工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。

1番：ターミネーター（内部終端抵抗）
以下の場合は、「ON」に設定してご使用ください。
・1台のみ接続する場合。
・デイジーチェーン接続する場合、配線長が最も長い1台のみ。

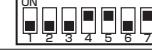
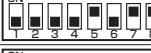
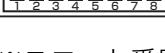
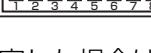
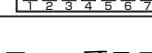
2～4番：　通信方式
2線式通信と4線式通信の切替設定です。使用する通信方式に設定します。

4線式通信の場合

2線式通信の場合

ユニット番号（DIPスイッチ1）の設定

工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。（同軸多重通信）

DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号
	1～96 ※		23		46
	1		24		47
	2		25		48
	3		26		49
	4		27		50
	5		28		51
	6		29		52
	7		30		53
	8		31		54
	9		32		55
	10		33		56
	11		34		57
	12		35		58
	13		36		59
	14		37		60
	15		38		61
	16		39		62
	17		40		63
	18		41		64
	19		42		65
	20		43		66
	21		44		67
	22		45		68

DIPスイッチの設定

DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号
	69		78		87
	70		79		88
	71		80		89
	72		81		90
	73		82		91
	74		83		92
	75		84		93
	76		85		94
	77		86		95

※ユニット番号「1～96」に設定した場合は、RS485設定メニューでユニット番号を設定する必要があります。設定方法は、20ページの手順2をご覧ください。

※この設定で電源を入れると、初期化動作中にRS485設定メニューが表示されます。

RS485通信条件（DIPスイッチ1）の設定

DIPスイッチ1を次のように設定すると、通信条件を工場出荷時の設定に戻したり、設定内容を変更することができます。

DIPスイッチ1	設　定　内　容
	通信条件を工場出荷時の設定に戻す。
	BAUD RATE : 19 200 bit/s、DATA BIT : 8 bit、PARITY CHECK : NONE、STOP BIT : 1 bit
	BAUD RATE : 9 600 bit/s、DATA BIT : 8 bit、PARITY CHECK : NONE、STOP BIT : 1 bit
	BAUD RATE : 4 800 bit/s、DATA BIT : 8 bit、PARITY CHECK : NONE、STOP BIT : 1 bit

この設定を使用するときは、次の手順で行ってください。

① 本機の電源を切り、DIPスイッチ1でRS485通信条件（上表）を設定します。
② 本機の電源を入れます。
　手順①で設定した内容が反映されます。
③ 本機の電源を切り、DIPスイッチ1でユニット番号（⇒13～14ページ）を設定し、再度電源を入れます。

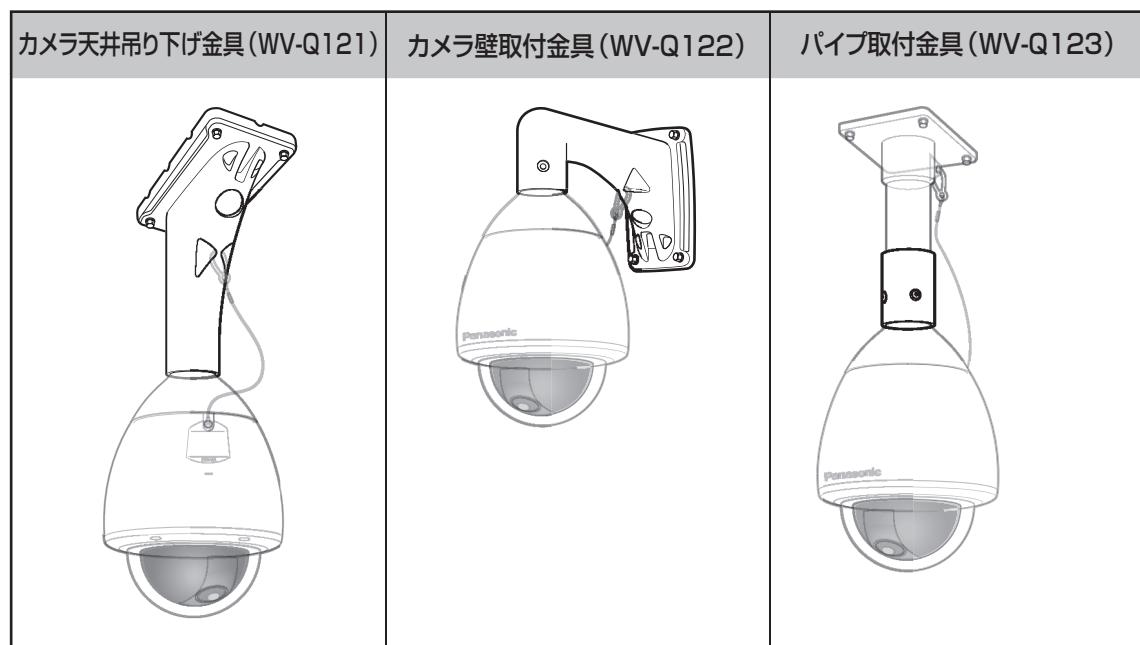
設置のしかた

別売品のご紹介（吊り下げ／取付金具）

本機を設置するためには、別売品のカメラ天井吊り下げ金具（WV-Q121）またはカメラ壁取付金具（WV-Q122）が必要です。現地で製作した取付金具に本機を取り付ける場合は、別売品のパイプ取付金具（WV-Q123）が必要です。

なお、吊り下げ／取付金具および本機の取り付け手順の詳細は、ご使用になる吊り下げ／壁／パイプ取付金具の工事説明書をご覧ください。

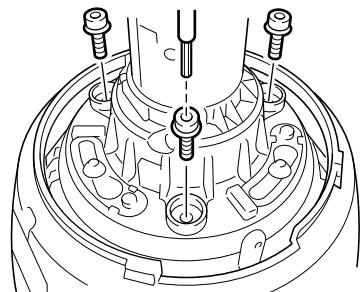
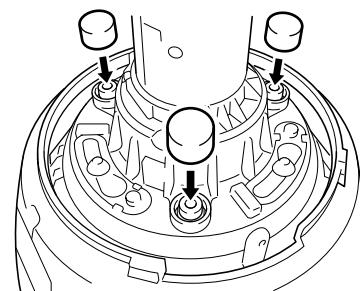
⚠警告

- **取り付け場所の強度を確認してください。取り付け場所の強度が不足していると、落下などでけがの原因となります。**
- **工事の際はブレーカーを切ってから行ってください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。**
- **取り付け完了後、取付部がゆるんでいないことを再度確認してください。**
- **本機の電源工事には電気工事主任の資格が必要です。**

取付金具を設置する

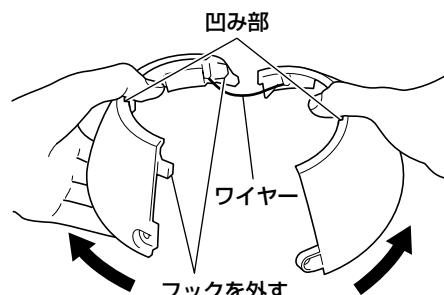
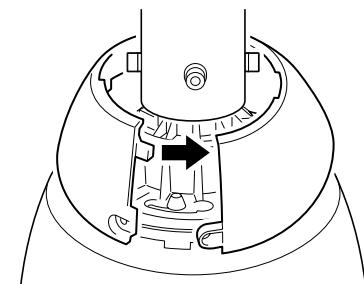
設置のしかたについては、設置する別売品の取付金具（WV-Q121など）の工事説明書をご覧ください。

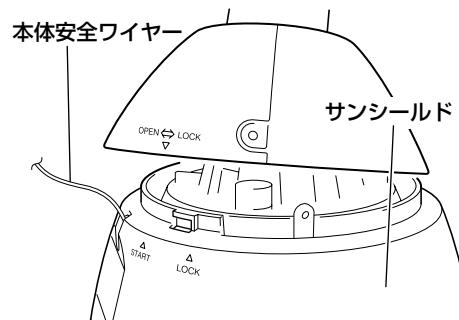
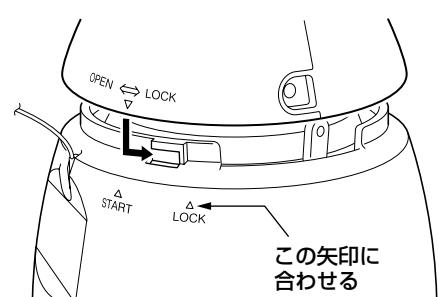
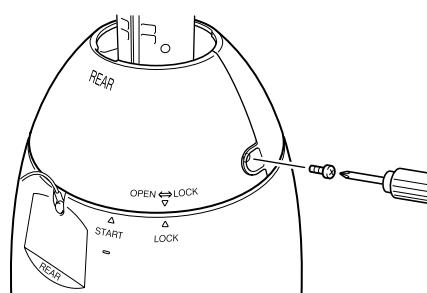
取付金具に本機を取り付ける

設置のしかたについては、設置する別売品の取付金具（WV-Q121など）の工事説明書も併せてご覧ください。

1 **ハウジング着脱台に本機を取り付け、3か所を取付ねじで固定します**

2 **取付ねじ上部に防水キャップ（付属品）を取り付けます**

本機にフロント／リアサンシールド（付属品）を取り付ける

1 **フロント／リアサンシールドの凹み部分に指をかけ、両側のフックを外して分割します**

紛失防止のため、片側はワイヤーで固定されています。

2 フロントリアサンシールドをハウジング着脱台をはさみ込む位置にもっていきます。

3 サンシールドにはめ込む前に、フロント／リアサンシールドを閉じます（まずワイヤー側のフックを閉じ、次に反対側のフックを閉じます。）

※本体安全ワイヤーが内側に入らないように注意してください。

4 リアサンシールドの矢印（▽）を、サンシールドの「START」の矢印（△）に合わせてはめ込み、「LOCK」の矢印（△）に「カチッ」と音がするまで回転させます

5 フロント／リアサンシールドに付属のねじで、本機にフロント／リアサンシールドを固定します

メモ

本機からフロント／リアサンシールドを取り外す場合は、上記の手順を逆に行ってください。

お願い

本体安全ワイヤーはカメラ本体を吊り下げることを想定し設計されていますので、それ以外の負荷を加えないでください。

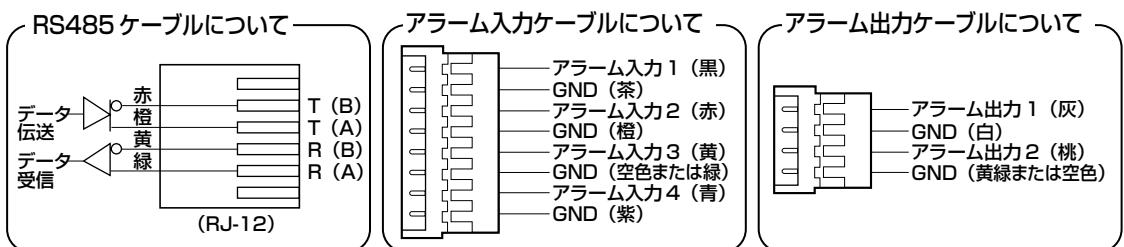
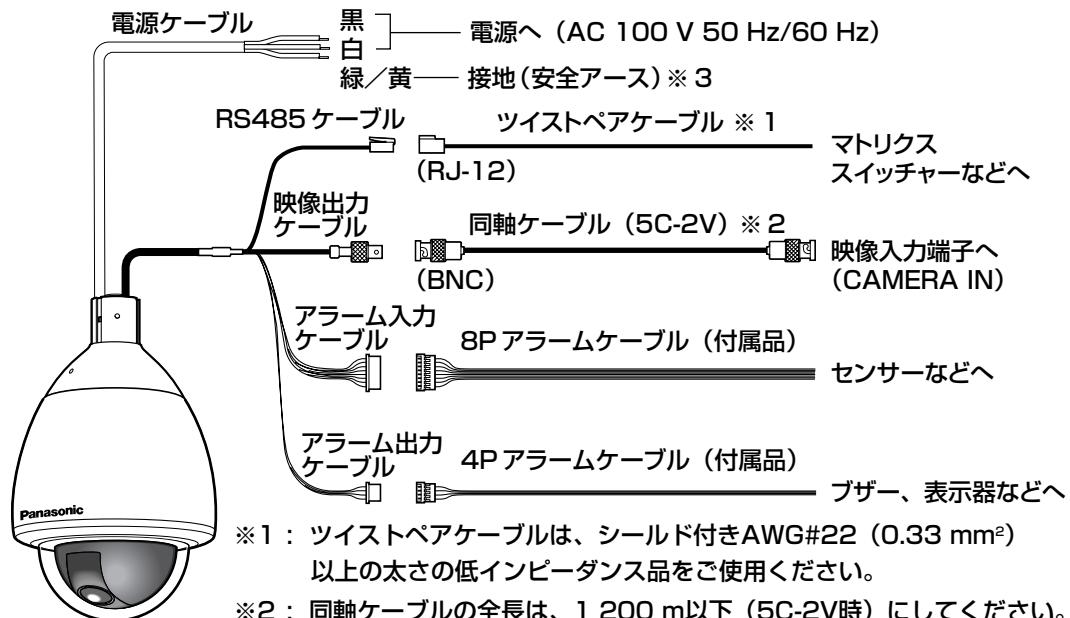
接続のしかた

⚠警告

工事の際は、ブレーカーを切ってから行ってください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

※1：ツイストペアケーブルは、シールド付きAWG#22（0.33 mm²）以上の太さの低インピーダンス品をご使用ください。

※2：同軸ケーブルの全長は、1 200 m以下（5C-2V時）にしてください。

※3：アース線は必ずアースに接地してください。

アラーム入出力の定格

アラーム入力 ： 5 V DCプルアップ入力。0.2 mA以上のドライブ能力が必要です。
OFF ：4 V DC以上、5 V DC以下またはオープン
ON ：1 V DC以下またはショート

アラーム出力 ： オープンコレクタ出力。ドライブ能力16 V DC、100 mA以下。
OFF ：オープン
ON ：100 mA以下

※外部機器接続時は、定格を超えないように設置してください。

メモ

電源投入後、30 秒以内に電源の入/切を繰り返すと、パン・チルト・ズーム・フォーカスの位置がずれることがあります。

RS485設定

本機のRS485ケーブルを使用して、システムコントローラーから本機を制御（回転台操作など）する場合の環境設定を行います。

1 セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「COMMUNICATION ⮯」に合わせて、カメラ（セット）ボタンを押します

RS485設定メニューが表示されます。

2 ユニット番号を確認します（⇒13ページ）

DIPスイッチ1で設定したユニット番号が「UNIT NUMBER」の項目に表示されます。工場出荷時の設定は「1」です。
DIPスイッチ1の設定でユニット番号「1～96」を選択した場合は、「UNIT NUMBER」の項目にカーソルを合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ユニット番号（1～96）を設定します。

```
   ** RS485 SETUP **
UNIT NUMBER      1
SUB ADDRESS      -----
BAUD RATE        19200
DATA BIT         8
PARITY CHECK     NONE
STOP BIT         1
XON/XOFF         NOT USE
WAIT TIME        OFF
ALARM DATA       AUTO2
DELAY TIME       OFF
 RET TOP
```

補足

RS485設定メニューの「SUB ADDRESS」は設定不要です。

3 カーソルを「BAUD RATE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ボーレートを設定します

ボーレート（転送速度）の表示は次のように切り替わります。（単位：bit/s）工場出荷時の設定は「19200」です。

2400↔4800↔9600↔19200（19200↔2400）

4 カーソルを「DATA BIT」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、データビット（7または8）を設定します

工場出荷時の設定は「8」です。

5 カーソルを「PARITY CHECK」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、パリティビット（NONE/ODD/EVEN）を設定します

工場出荷時の設定は「NONE」です。

6 カーソルを「STOP BIT」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ストップビット（1または2）を設定します

工場出荷時の設定は「1」です。

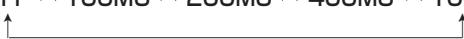
7 カーソルを「XON/XOFF」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、XON/XOFF機能を設定します

工場出荷時の設定は「NOT USE」です。

NOT USE ：XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をしません。
USE ：XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をします。

8 カーソルを「WAIT TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、再送時間を設定します

再送時間とは、送信したデータの受信確認（ACK）が無かったときに、再度データを送るまでの時間をいいます。
再送時間の表示は次のように切り替わります。（単位：ms）工場出荷時の設定は「OFF」です。

OFF ↔ 100MS ↔ 200MS ↔ 400MS ↔ 1000MS

9 カーソルを「ALARM DATA」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アラームデータの送信方法を設定します

POLLING ：システムコントローラーからの要求により送信します。
AUTO1 ：アラーム信号が入力されたときに送信します。
AUTO2 ：2回目以降は5 秒間隔以上で送信します。工場出荷時の設定です。

10 カーソルを「DELAY TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、遅延時間を設定します

遅延時間とは、受信確認（ACK）を送信するまでの時間をいいます。遅延時間の表示は、次のように切り替わります。（単位：ms）工場出荷時の設定は「OFF」です。

OFF ↔ 100MS

この設定は、DIPスイッチ2の設定で「2線式通信」を選択している場合のみ行えます。
(⇒12ページ)

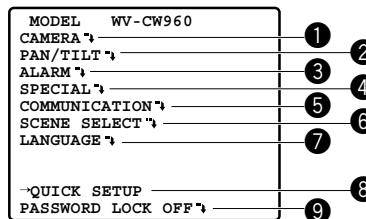
セットアップメニューについて

操作の詳細説明は、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。
本書では、システムコントローラーWV-CU650を使用する場合の操作方法を記載しています。
すべての設定操作は「セットアップメニュー」を表示したところから始まります。ここではセットアップメニューの表示方法と設定項目について説明します。

セットアップメニューの表示方法

●WV-CU650を使用する場合

① 設定するカメラ（本機）と、セットアップメニューを表示するモニターを選択する
② メニューボタンを押して、「LCD MENU CAM101」を表示する
③ ENTERボタンまたはカメラ（セット）ボタンを押して、「CAMERA SETUP」を表示する
④ F1ボタンを押す

```
 MODEL    WV-CW960
CAMERA       ❶
PAN/TILT     ❷
ALARM        ❸
SPECIAL      ❹
COMMUNICATION ❺
SCENE SELECT ❻
LANGUAGE     ❼

→QUICK SETUP ❽
PASSWORD LOCK OFF ❾
```

「セットアップメニュー」の各項目は下記のページをご覧ください。

❶ CAMERA	カメラ設定	23ページへ
❷ PAN/TILT	パン・チルト設定	33ページへ
❸ ALARM	アラーム設定	50ページへ
❹ SPECIAL	特別設定	56ページへ
❺ COMMUNICATION※	通信設定	20ページへ
❻ SCENE SELECT	シーンセレクト設定	59ページへ
❼ LANGUAGE	言語設定	本ページ
❽ QUICK SETUP	簡単メニュー設定	60ページへ
❾ PASSWORD LOCK	パスワード設定	61ページへ

※DIPスイッチ設定がRS485設定のときのみ表示されます。

言語設定メニューについて

1 カーソルを「LANGUAGE」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

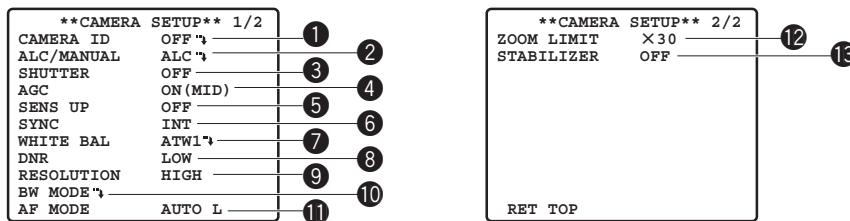
2 設定したい言語を、8か国語の中から選択します
※本取扱説明書は日本語をベースに説明しています。工場出荷時の設定は「JAPANESE」です。

3 カーソルを「SET」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
※言語設定切り替え中、SET項目が点滅表示になり、切り替えが完了すると、点滅表示が停止します。切り替え中は、システムコントローラーからの操作を行わないでください。
※言語を切り替えた場合、設定されているID、タイトルは消去されます。
※日本語または中国語を選択した場合、各IDとタイトルのみカタカナまたは中国語で設定することができます。
※言語を切り替えた場合でも、「LANGUAGE」の表示は英語です。

カメラ設定

カメラ設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、カメラ設定メニューを表示し、各メニュー項目の設定を行います。最初にカメラ設定メニューを表示します。

1 **セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「CAMERA ↴」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**
カメラ設定メニューが表示されます。

※各カメラ設定メニュー❶～⓭を順番に説明します。

❶ カメラIDを設定する［CAMERA ID］

カメラIDとは、カメラが撮影する場所を英数記号およびカタカナで表したもので、モニター画面上に表示することができます。工場出荷時の設定は「OFF」です。

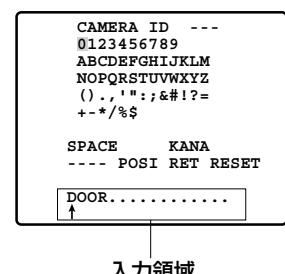
1 **カーソルを「CAMERA ID」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます**

2 **「ON」または「OFF」を選択し、カメラ（セット）ボタンを押します**
カメラID設定メニューが表示されます。

3 **ジョイスティックを動かして入力したい文字の上にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**
入力した文字が入力領域に表示されます。この操作を繰り返し、カメラIDを作成します。（例: DOOR）

入力領域

[空白スペースを入力したいときは]
「SPACE」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します。

[カタカナを入力したいときは]
「KANA」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します。カメラID設定メニューのアルファベットおよび記号部分がカタカナ表示に変わります。
「ALPHA」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押すと、アルファベット表示に戻ります。

（⇒次ページへ続く）

設定のしかた

[入力した文字をすべて消去するときは]
「RESET」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します。

[入力した文字を修正するときは]
ジョイスティックを動かして入力領域にカーソルを移動します。次にジョイスティックを左または右に動かして修正したい文字に「↑」を合わせ、文字を入力し直します。

4 カーソルを「POSI」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
表示位置設定メニューが表示されます。

5 ジョイスティックを動かしてカメラIDの表示位置を設定し、モニター（ESC）ボタンを押します
カメラIDの表示位置が決定し、カメラID設定メニューに戻ります。

❷ レンズの絞り方法を設定する［ALC/MANUAL］

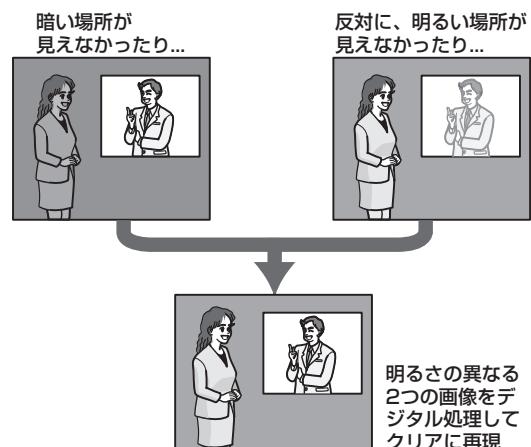
1 カーソルを「ALC/MANUAL」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ALC/MANUALを切り替えます

ALC　　　：被写体の明るさに応じて、自動でレンズの絞りを調整します。SUPER-DⅢ機能を使用するときはこの設定にしてください。工場出荷時の設定です。
MANUAL　：レンズの絞りは、システムコントローラーのアイリスボタンで調整してください。レンズの絞りを固定します。

2 手順1でALCに設定した場合、カメラ（セット）ボタンを押して、SUPER-DⅢの設定を行います

SUPER-DⅢ（スーパーダイナミックⅢ）機能とは

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまいます。逆に、暗い部分にレンズの絞りを合わせると明るい部分が見えなくなってしまいます。

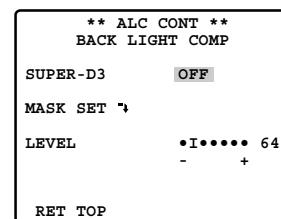
このような場合に、被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能を「SUPER-DⅢ」機能といいます。

SUPER-DⅢ（スーパーダイナミックⅢ）機能とは（続き）

メモ

・SUPER-DⅢ機能は、上記の設定を「ALC」に設定したときのみ使用できます。
・SUPER-DⅢ機能をONに設定すると、カメラ設定の下記項目が制限されます。
SHUTTER : OFF、AUTO、1/100のみ切替可能（⇒26ページ）
SENS UP : OFF、AUTOのみ切替可能（⇒27ページ）
・照明の条件によって次のような現象が見られるときは、SUPER-DⅢ機能「OFF」でご使用ください。
① 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
② 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

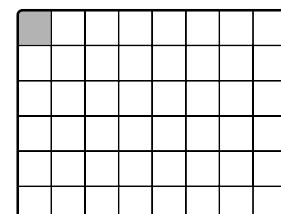
3 「SUPER-D3」の項目にカーソルを合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON : SUPER-DⅢ機能を働かせます。（⇒手順6へ）
OFF : SUPER-DⅢ機能を停止します。（⇒手順4へ）
工場出荷時の設定です。

```
** ALC CONT **
BACK LIGHT COMP

SUPER-D3          OFF

MASK SET ↵

LEVEL             •I••••• 64
                  -       +

RET TOP
```

4 「MASK SET ↵ 」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

マスク設定画面が表示され、左上の区画が点滅します。

5 背景の明るい部分の区画にマスクを設定し、その部分の明るさを認識しないようにします

操作方法は次のとおりです。
① ジョイスティックを上下左右に動かし、点滅表示をマスク設定したい区画に合わせます
② カメラ（セット）ボタンを押し、マスクを設定します
マスクが設定されている区画に点滅表示を合わせると、横縞と白の交互表示になります。この状態でカメラ（セット）ボタンを押すと、設定されていたマスクが解除されます。
③ マスクを設定したらモニター（ESC）ボタンを押して、SUPER-DⅢ設定メニューに戻ります

6 「LEVEL」の項目にカーソルを合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、映像出力レベル（映像のコントラスト）を調整します

手順3で「ON」に設定した場合、レベルを少し上げ気味にすると、より効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、残像やノイズが多くなることがあります。

メモ

・メニューを閉じて、運用中にシステムコントローラーのアイリス（開、閉）ボタンを操作した場合、この設定に反映されて記憶されます。ただし、カメラがプリセットポジションにある場合は、プリセットポジションの撮影条件として反映されます。工場出荷時のレベルに戻すには、システムコントローラーからアイリスリセットを実行します。

❸ シャッターを設定する［SHUTTER］

1 カーソルを「SHUTTER」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、シャッター速度を設定します

シャッター速度の設定項目の表示は次のように切り替わります。（単位：秒）

［SUPER-DⅢ機能の設定がOFFの場合］

OFF ↔ AUTO ↔ 1/100 ↔ 1/250 ↔ 1/500 ↔ 1/1000 ↔ 1/2000 ↔ 1/4000 ↔ 1/10000

［SUPER-DⅢ機能の設定がONの場合］

OFF ↔ AUTO ↔ 1/100

AUTO ：屋外など明るい被写体を写したとき、必要に応じてシャッターが自動的に働くので、よりクリアな撮影が可能です。
OFF ：1/60秒固定です。工場出荷時の設定です。

メモ

- AUTO 設定時、蛍光灯などの下では、フリッカーが発生する可能性があります。その際は、「OFF」または「1/100」にして使用してください。
- レンズの絞り方法が「MANUAL」、電子感度アップ設定が「FIX」の場合、AUTOの機能は働きません。

❹ ゲインを設定する［AGC］

1 カーソルを「AGC」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ゲインの調整方法を設定します

ON（LOW） ：ゲイン小。
ON（MID） ：ゲイン中。工場出荷時の設定です。
ON（HIGH） ：ゲイン大。
OFF ：ゲインを常に固定した状態で撮影します。

メモ

AGCを「ON」にすると、低照度で自動的にノイズリダクション機能が働き、ノイズが低減されます。ただし、動きのある被写体やパン・チルト操作によって残像が発生することがあります。詳しくは、DNRの設定（⇒29ページ）を参照してください。

❺ 電子感度アップを設定する［SENS UP］

1 **カーソルを「SENS UP」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、電子感度アップを設定します**

電子感度アップは、シャッター速度が「OFF」、「AUTO 」、「1/100 」のときのみ設定できます。設定項目の表示は次のように切り替わります。工場出荷時の設定は「OFF」です。

[SUPER-DⅢ機能の設定がOFFの場合]

OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO
X32 FIX↔X16 FIX↔X10 FIX↔X6 FIX↔X4 FIX↔X2 FIX↔OFF

[SUPER-DⅢ機能の設定がONの場合]

OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO

メモ

AUTOとFIXには次のような違いがあります。
AUTO　：たとえば「X32 AUTO」であれば、32倍までの間で自動的に感度を上げます。
FIX　：たとえば「X32 FIX」であれば、32倍に固定して感度を上げます。
シャッター速度が「1/100」のときは、FIXには設定できません。

注意

SENS UPが設定されると、映像内にノイズや白い点（傷）が見えることがあります。

❻ 同期方式を設定する［SYNC］

本機は次に示す3種類の同期方式に対応しています。また、記載順序は同期方式の優先順位を表しています。
① 多重化垂直ドライブ（VD2）
② 内部同期（INT）
③ 電源同期（LL）
多重化垂直ドライブ（VD2）が入力された場合は、カメラがほかの同期方式に設定されていても、自動的にVD2同期に切り替わります。この場合、カメラ設定メニューには「EXT（VD2）」と表示され、内部同期（INT）および電源同期（LL）への切り替えはできません。
ここでは、内部同期（INT）、電源同期（LL）の設定方法と、電源同期（LL）設定時の位相調整方法について説明します。

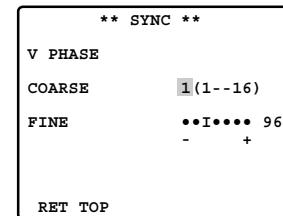
1 **カーソルを「SYNC」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、同期方式を切り替えます**

INT　：内部同期。工場出荷時の設定です。
LL　：電源同期。（50 Hz地域では使用できません）

「LL」を選択してカメラ（セット）ボタンを押すと、位相調整メニューが表示され、詳細設定を行うことができます。（⇒28ページ）

● 位相調整を行う（電源同期選択時）

調整するカメラの映像信号と、基準となるカメラの映像出力信号を二入力オシロスコープに接続してください。
オシロスコープは垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大してください。

1 **カーソルを「COARSE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、調整するカメラの垂直位相を、基準カメラに合わせて粗調整します**
粗調整は16段階（1～16）の調整ができます。16段階進むと最初の段階に戻ります。

2 **カーソルを「FINE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、調整するカメラの垂直位相を、基準カメラに合わせて微調整します**

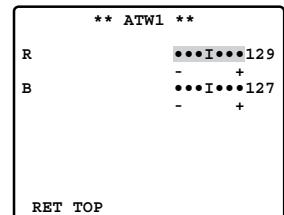
❼ ホワイトバランスを調整する［WHITE BAL］

1 **カーソルを「WHITE BAL」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ホワイトバランスの調整方法（ATW1/ATW2/AWC）を設定します**

① ATW1／ATW2：自動色温度追尾モード
カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調整します。
動作範囲は以下のとおりです。工場出荷時の設定は「ATW1」です。
　ATW1：約2 700 K～6 000 K
　ATW2：約2 000 K～6 000 K（ナトリウム照明下推奨モード）
以下の条件に該当する場合、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は、「AWC」に変更してください。
・被写体の大部分が濃い色
・光源が、抜けるような青空や夕暮れ時の太陽
・被写体を照らす照度が暗い

② AWC：自動ホワイトバランスコントロールモード
動作範囲は約2 000 K～10 000 Kです。光源が変化しない場所での撮影に適しています。
(a)「AWC」を選択した場合は、ジョイスティックを左に動かし、「AWC→PUSH SET」に切り替えます。
(b)カメラ（セット）ボタンを押し、ホワイトバランスを調整します。ホワイトバランスの調整中は、「PUSH SET」が反転表示になります。
・「PUSH SET」の反転表示が元に戻ったら、ホワイトバランスの調整は終了です。ジョイスティックを右に動かし、表示を「AWC」にします。
・ホワイトバランスを完全に調整できない場合、「PUSH SET」は反転表示のままとなります。動作範囲外でないか、照度が過小でないかを確認してください。

2 **ATW1、ATW2、AWCを選択し、カメラ（セット）ボタンを押して、ATW設定メニューまたはAWC設定メニューを表示し、ホワイトバランスを微調整します**

カーソルを「R」の項目、「B」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、レベルを微調整します。
「R」は赤色、「B」は青色を表しており、＋方向に動かすと色が濃く、－方向に動かすと色が薄くなります。

メモ

ホワイトバランスは画面上の色温度を自動的に検出して調整していますが、画面上に強い光源などがあると、正常に調整できない場合があります。

❽ デジタル・ノイズ・リダクションを設定する［DNR］

1 **カーソルを「DNR」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、デジタル・ノイズ・リダクション（DNR）を設定します**

LOW　：DNR効果小、残像少ない。工場出荷時の設定です。
HIGH　：DNR効果大、残像多い。

❾ 解像度を設定する［RESOLUTION］

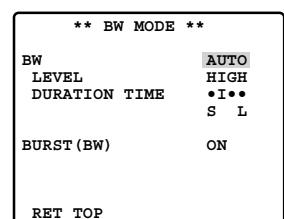
1 **カーソルを「RESOLUTION」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、NORMAL/HIGHを切り替えます**

NORMAL　：水平解像度を480TV本以上に設定します。（カラーモード時）
HIGH　：水平解像度を520TV本以上に設定します。（カラーモード時）工場出荷時の設定です。

❿ Day&Night機能を設定する［BW MODE］

カーソルを「BW MODE」の項目に合わせて、カメラ（セット）ボタンを押すと、BW MODE設定メニューが表示されます。
BW MODE設定メニューで白黒モードの各種設定を行います。

1 **カーソルを「BW」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、画面の白黒制御を設定します**

AUTO　：画面の明るさ（照度）により、カラー映像と白黒映像を自動的に切り替えます。
暗い場合は白黒映像に、明るい場合はカラー映像になります。
ON　：白黒映像を表示します。
OFF　：カラー映像を表示します。工場出荷時の設定です。

補足

ALARM IN 4の設定（⇒54ページ）が「BW」のときは、この設定は無効です。

2 手順1でAUTOに設定した場合、カーソルを「LEVEL」に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、カラー映像と白黒映像を切り替える、明るさ（照度）のレベルを設定します

LOW ：カメラ周囲の明るさ（照度）が約1.5 lx以下のとき白黒映像に切り替えます。（AGC ON(MID)、SENS UP OFF設定時）

HIGH：カメラ周囲の明るさ（照度）が約3 lx以下のとき白黒映像に切り替えます。（AGC ON(MID)、SENS UP OFF設定時）工場出荷時の設定です。

3 手順1でAUTOに設定した場合、カーソルを「DURATION TIME」に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、照度変化によりカラー映像または白黒映像に切り替わるまでの時間を設定します

設定時間：10秒－30秒－60秒－300秒
（S）　　　　　　　（L）

工場出荷時の設定は「30秒」です。

補足

「AUTO」を選択した場合、回転台やズーム・フォーカスの動作中はカラー映像と白黒映像の切り替えは働きません。

4 カーソルを「BURST（BW)」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、バースト信号出力のON/OFFを設定します

白黒画面を表示する場合の設定です。

ON　：バースト信号を出力します。工場出荷時の設定です。

OFF　：バースト信号を出力しません。

補足

カメラ映像を白黒で表示する場合、モニターやVTRの種類によってはバースト信号がないと正常に映像が表示されない機器があります。このような機器を使用するときは「ON」に設定してください。

⓫ オートフォーカス機能を設定する［AF MODE］

1 カーソルを「AF MODE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、オートフォーカスの動作モードを設定します

NORMAL S.M.L：システムコントローラーのオートフォーカススイッチを押したときに、オートフォーカスが働きます。

AUTO S.M.L　：手動によるパン・チルト・ズーム操作時に、自動的にオートフォーカスが働きます。

S.M.Lは、オートフォーカスを設定するエリアを表わしており、Small（小）、Middle（中）、Large（大）の略です。

工場出荷時の設定は「AUTO L」です。

メモ

・電子感度アップ（SENS UP）を「OFF」、「X2 FIX」、「X2 AUTO」以外の設定で使用する場合、「AUTO（S.M.L）」は設定できません。自動的に「NORMAL （S.M.L）」に設定されます。
・WIDE（広角）で合わせたあとにズームアップすると、ピントがぼける場合があります。
・以下のような被写体は、オートフォーカスでピントを合わせることはできません。手動操作でピントを合わせてください。
（例）・輝いたり、強い光が反射する被写体
・水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体
・遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合
・白い壁など、明暗差のない被写体
・ブラインドなど、横じまの被写体
・斜めの被写体
・暗い被写体
また、オートフォーカスは、画面の中央部にある被写体に対してピントを合わせるため、画面の周辺にある被写体にはピントが合いません。

⓬ ズームリミットを設定する［ZOOM LIMIT］

1 カーソルを「ZOOM LIMIT」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ズームリミット倍率を設定します

手動操作時に、ズームリミット倍率以上のズーム操作を行うことはできません。
1倍～30倍までは光学、それ以上（300倍まで）は電子ズームとなります。

メモ

・ズームリミットが30倍以上に設定されている場合、ズーム操作時に30倍で一度停止します。
・30倍以上（電子ズーム）では倍率を上げると、解像度が低下します。
・30倍よりもズーム倍率が高い位置にプリセットポジションの設定はできません。

工場出荷時の設定は「×30」（光学30倍）です。

⓭ 画揺れ補正を設定する［STABILIZER］

1 カーソルを「STABILIZER」の項目に合わせて、ジョイスティックを動かし、画揺れ補正のON/OFFを切り替えます

メモ

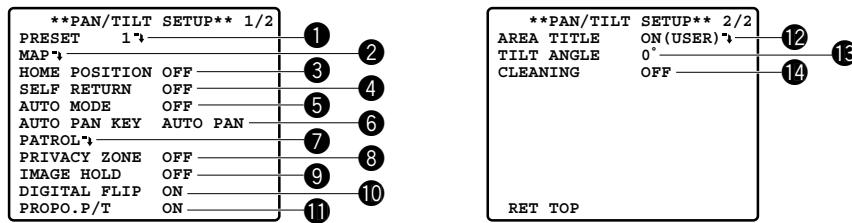
・以下のような被写体に対しては、画揺れ補正が効きにくい場合があります。
（例）・暗い被写体
　　　・明暗差のない被写体（白い壁など）
・速い周期の画揺れは、追従しない場合があります。
・パン・チルト・ズーム・フォーカス動作中、カメラ設定メニュー表示中は、画揺れ補正は効きません。
・ONに設定した場合、画面の一部を切り出して補正を行うため、画角が狭くなり、解像度が低下します。

工場出荷時の設定は「OFF」です。

パン・チルト設定

パン・チルト設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、パン・チルト設定メニューを表示し、各メニュー項目の設定を行います。
最初にパン・チルト設定メニューを表示します。

1 **セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「PAN／TILT ↴ 」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**
パン・チルト設定メニューが表示されます。

※各パン・チルト設定メニュー❶〜⓮を順番に説明します。

❶ プリセットポジションの設定［PRESET］

プリセット番号を設定し、プリセット番号ごとに撮影場所・撮影条件を設定します。
設定は、下記の「プリセットポジションの設定［MAP］」で行うこともできます。
プリセット番号1〜4は、アラーム機能（⇒53ページ）と連動させることもできます。

1 **カーソルをPRESETの設定項目「1 」に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、設定したいプリセット番号（1〜256）に切り替えます**

2 **カメラ（セット）ボタンを押します**
プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。（⇒34ページ）

❷ プリセットポジションの設定［MAP］

設定は、上記の「プリセットポジションの設定［PRESET］」で行うこともできます。

1 **カーソルを「MAP ↴ 」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**

```
  **PRESET POSITION**
  1*     2      3      4
  5      6      7      8
  9     10     11     12
 13     14     15     16
 17     18     19     20
 21     22     23     24
 25     26     27     28
 29     30     31     32
  ID:DOOR
033-064  225-256
RET TOP
```

（⇒次ページへ続く）

2 設定したいプリセット番号にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。（⇒本ページ）
プリセット番号33～64を設定するときは、メニュー左下の「033－064」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押してください。それ以降のプリセット番号を設定する場合も同様です。

```
 **PRESET POSITION**
33     34     35     36
37     38     39     40
41     42     43     44
45     46     47     48
49     50     51     52
53     54     55     56
57     58     59     60
61     62     63     64
 ID:
065-096  001-032
RET TOP
```

メモ
- プリセット番号右側の「*」印は、プリセットが設定されていることを示します。ホームポジションに設定されている場合は、「*」印の横に「H」印が表示されます。
- プリセットIDが登録されているプリセット番号にカーソルを合わせると、「ID:」欄にプリセットIDが表示されます。

●撮影場所を設定する［POSITION SET］

カメラの向き（水平・垂直位置）、レンズのズーム・フォーカスを設定します。

1 カーソルを「POSITION SET ⤵」に合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、ポジション設定メニューを表示します

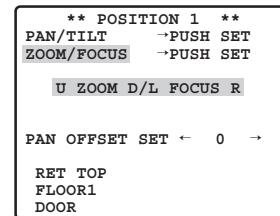
```
      PRESET NO.     1*
POSITION SET   ⤵
PRESET ID      ON    ⤵
ALC/MANUAL     ALC   ⤵
AF MODE        NORMAL L
STOP TIME      10S
SCENE FILE     1     ⤵
PRESET SPEED   ●●●●●●I255
               L      H

 RET TOP DEL
```

2 PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します

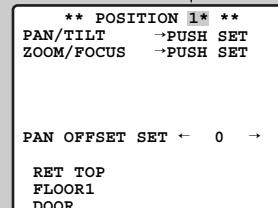
3 ジョイスティックを上下左右に動かしてカメラの向き（水平・垂直位置）を設定し、カメラ（セット）ボタンを押します

```
   ** POSITION 1  **
PAN/TILT      →PUSH SET
ZOOM/FOCUS    →PUSH SET

    U TILT D/L PAN R


PAN OFFSET SET ←   0   →

 RET TOP
 FLOOR1
 DOOR
```

4 ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ(セット)ボタンを押し、ZOOM/FOCUS設定メニューを表示します

```
   ** POSITION 1  **
PAN/TILT       →PUSH SET
ZOOM/FOCUS     →PUSH SET

   U ZOOM D/L FOCUS R

PAN OFFSET SET ←   0   →

 RET TOP
 FLOOR1
 DOOR
```

5 ジョイスティックを上下左右に動かし、レンズのズーム・フォーカス位置を調整し、カメラ（セット）ボタンを押します

メモ

・水平に近い角度で使用する場合、ドームカバーの成形ひずみにより、フォーカス調整があまくなることがあります。
・ポジション設定メニュー上部のプリセット番号にカーソルを合わせ、ジョイスティックを左または右に動かすとプリセット番号を選択できます。ここでカメラ（セット）ボタンを押すと、選択したプリセット番号の撮影場所を設定することができます。
・カメラID、プリセットIDが登録されているとポジション設定メニュー下部にカメラID、プリセットIDが表示されます。
・WV-CU650（※）、WJ-HD316A以外のシステム機器をお使いの場合、65以上のプリセット番号を指定できません。（2005年9月現在）
※システムコントローラーのソフトウェアバージョンにより可能な操作方法が異なります。
Ver.1.xx以前：カメラファンクションによる操作のみ対応。
Ver.2.xx以降：プリセット／プリセット登録ボタンによる操作にも対応。

●カメラ交換時のカメラ位置調整［PAN OFFSET SET］

システムコントローラーなどには、カメラの設定情報をダウンロード（保存）、アップロード（回復）する機能があります。これは、予期せぬ障害や事故によって失われたカメラの設定情報を、ダウンロード（保存）した情報を元に回復するための機能です。ただし、カメラ交換時にアップロード（回復）すると、交換前の映像と微妙な位置ずれを起こすことがあります。この位置ずれを調整する機能が「PAN OFFSET SET」です。

1 「PAN OFFSET SET」の項目（←または→）にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、オフセット値を設定します

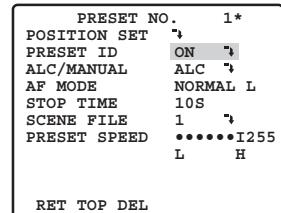
オフセット値は、0.0、－10.0 ～＋10.0の範囲で設定します。オフセット値を設定することにより、すべてのプリセットポジションのカメラ位置が修正されます。

重要！

従来のカメラとはデータの互換性はありません。従来カメラの設定情報を本機にアップロードすると、本機のデータが破壊されます。本機のデータを破壊してしまったときは、工場出荷状態の本機を準備してカメラの設定情報をダウンロードし、データを壊したカメラへアップロードしてください。

●プリセットIDを設定する［PRESET ID］

プリセットIDとは、カメラが撮影する場所を英数記号およびカタカナで表したもので、モニター画面上に表示することができます。

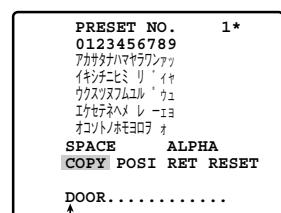
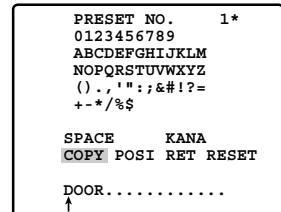
1 **カーソルを「PRESET ID」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます**

2 **「ON」または「OFF」を選択し、カメラ（セット）ボタンを押します**

プリセットID設定メニューが表示されます。

3 **ジョイスティックを動かして入力したい文字の上にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**

操作方法は、カメラIDの設定方法と同じです。
「❶カメラIDを設定する（⇒23〜24ページ）」の手順3,4,5の操作を行い、タイトル名と表示位置を設定してください。

［他のプリセット番号で設定したIDをコピーするときは］
「COPY」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します。1つ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されます。続けてカメラ（セット）ボタンを押すと、もう1つ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されます。

```
PRESET NO.    1*
0123456789
ｱｶｻﾀﾅﾊﾏﾔﾗﾜﾝｧｯ
ｲｷｼﾁﾆﾋﾐ ﾘ ﾞｨｬ
ｳｸｽﾂﾇﾌﾑﾕﾙ ﾟｩｭ
ｴｹｾﾃﾈﾍﾒ ﾚ ｰｪｮ
ｵｺｿﾄﾉﾎﾓﾖﾛｦ ｫ
SPACE     ALPHA
COPY POSI RET RESET

DOOR............
```


●レンズの絞り方法を設定する［ALC/MANUAL］

設定方法は24、25ページを参照してください。
MANUAL設定時は、詳細メニューでレンズの絞りを調整することができます。

●オートフォーカス機能を設定する［AF MODE］

1 **カーソルを「AF MODE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、オートフォーカス機能を設定します**

NORMAL S.M.L ：プリセットポジションへの移動完了後、オートフォーカスが働きません。
AUTO S.M.L ：プリセットポジションへの移動完了後、オートフォーカスが働きます。

●シーケンス、ソート動作時の停止時間を設定する［STOP TIME］

シーケンス、ソート動作時（⇒40ページ）の各プリセットポジションを映し出す時間（カメラの回転が停止している時間）を設定します。

```
      PRESET NO.     1*
POSITION SET  ↵
PRESET ID     ON  ↵
ALC/MANUAL    ALC ↵
AF MODE       NORMAL L
STOP TIME     10S
SCENE FILE    1   ↵
PRESET SPEED  ••••••I255
              L     H

 RET TOP DEL
```

1 カーソルを「STOP TIME」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、停止時間を設定します

停止時間の表示は次のように切り替わります。（単位：秒、分）

2S ↔ 3S ↔ 5S ↔ 10S ↔ 30S ↔ 1MIN ↔ 2MIN ↔ 3MIN ↔ 4MIN（4MIN ↔ 2S）

●シーンファイルの選択と設定方法［SCENE FILE］

撮影場所（シーン）に合わせたカメラ設定をシーンファイルといい、10種類まで記憶することができます。記憶したシーンファイルは1～10の番号（シーンファイル番号）で管理され、プリセットポジション設定時に選択することができます。ここでは、シーンファイルの選択方法と設定方法について説明します。

（1） シーンファイルを選択する

記憶されているシーンファイルを現在設定しているプリセットポジションで使用する場合の設定です。

1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、使用するシーンファイル番号（1～10）を選択します

シーンファイルを使用しないときは、「OFF」を選択してください。

（2） シーンファイルを設定する

1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、シーンファイル番号（1～10）を設定します

2 カメラ（セット）ボタンを押します

シーンファイル設定メニューが表示されます。
シーンファイル設定メニューでは以下の項目が設定可能です。
各設定の詳細はカメラ設定の項目をご覧ください。

- SHUTTER（⇒26ページ）
- AGC（⇒26ページ）
- SENS UP（⇒27ページ）
- WHITE BAL（⇒28ページ）
- MOTION DET（⇒50ページ）

```
    **SCENE FILE 1**
SHUTTER       OFF
AGC           ON(MID)
SENS UP       OFF
WHITE BAL     ATW1 ↵
MOTION DET    OFF

 RET TOP
```

●プリセットスピードを設定する［PRESET SPEED］

シーケンス、ソート動作時（⇒40ページ）の各プリセットポジションへの移動速度を設定します。

1 カーソルを「PRESET SPEED」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、移動速度を設定します

L方向に動かすと速度が遅くなり、H方向に動かすと速度が速くなります。

●設定したプリセットポジションを消去する［DEL］

1 カーソルを「DEL」の項目に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

そのプリセット番号の設定内容は消去され、ポジション選択メニューが表示されます。

```
     PRESET NO.     1*
POSITION SET
PRESET ID      ON
ALC/MANUAL     ALC
AF MODE        NORMAL L
STOP TIME      10S
SCENE FILE     1
RESET SPEED    ••••••I255
               L     H

 RET TOP DEL
```

```
 **PRESET POSITION**
  1     2*    3*    4*
  5*    6*    7*    8*
  9*   10*   11*   12*
 13*   14*   15*   16*
 17*   18*   19*   20*
 21*   22*   23*   24*
 25*   26*   27*   28*
 29*   30*   31*   32*
  ID:DOOR
033-064 225-256
RET TOP
```

❸ ホームポジションの設定［HOME POSITION］

あらかじめ設定したプリセットポジションをホームポジションとして設定できます。
システムコントローラーのホームボタンを押すことで、設定したポジションにカメラを向けることができます。以下の操作でホームポジションを設定します。

1 カーソルを「HOME POSITION」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、設定したいプリセット番号を選択します

選択したプリセット番号がホームポジションとして設定されます。ホームポジションを使用しないときは、「OFF」を選択してください。

❹ セルフリターンの設定［SELF RETURN］

手動での操作終了後に一定時間を経過すると、任意の動作モードへ自動的に戻すことができます。

1 **カーソルを「SELF RETURN 」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、手動操作終了後に自動的に戻るまでの経過時間を設定します。**

経過時間の表示は次のように切り替わります。（単位：秒、分）

OFF ↔ 1S ↔ 2S ↔ 3S ↔ ……… ↔ 10S ↔ 20S ↔ 30S ↔ 40S ↔ 50S
↳ 60MIN ↔ 30MIN ↔ 20MIN ↔ 10MIN ↔ 5MIN ↔ 3MIN ↔ 2MIN ↔ 1MIN ↵

2 **手順1でOFF以外に設定した場合、カメラ（セット）ボタンを押したあと、ジョイスティックを左または右に動かし、手動操作終了後に自動的に戻る動作モードを設定します**

OFF ↔ AUTO ↔ HOME ↔ APAN ↔ SEQ ↔ SORT ↔ PTR1 ↔ PTR2 ↔ PTR3 ↔ PTR4 ↔ TRK

OFF　　：一定時間経過後、オートモード動作をしている場合は、オートモード動作を停止します。
AUTO　：一定時間経過後、オートモード設定が「OFF」以外のときはオートモード動作に、オートモード設定が「OFF」のときはホームポジションに戻ります。
HOME　：一定時間経過後、ホームポジションに戻ります。
APAN　：一定時間経過後、オートパン動作が起動します。
SEQ　　：一定時間経過後、シーケンス動作が起動します。
SORT　：一定時間経過後、ソート動作が起動します。
PTR1～4：一定時間経過後、パトロール1～4動作が起動します。
TRK　　：一定時間経過後、ホームポジションに戻り、自動追尾動作が起動します。そのあとは、一定時間経過後、ホームポジションに戻って自動追尾起動という動作を繰り返します。

メモ

- **普段はホームポジションに向けておき、時々システムコントローラーからパン・チルト操作やシーケンスを起動したい場合は、「HOME」に設定します。**
- **PTR1～4は、設定したパトロール記憶数（⇒42ページ）のみ表示されます。**

❺ オートモードの設定［AUTO MODE］

カメラの動作モード（OFF、SEQ、SORT、AUTO PAN、PATROL1～4、AUTO TRACK）を設定します。
「AUTO PAN」を選択した場合は、AUTO PAN設定メニューで詳細設定を行います。

1 カーソルを「AUTO MODE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、動作モードを設定します

OFF　：手動操作でのみ動作します。
SEQ　：設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り替えます。（シーケンス動作）
SORT　：設定されているプリセットポジションを、カメラの原点位置から左回りに切り替えます。（ソート動作）
AUTO PAN　：設定したパンの範囲を自動的に旋回します。「AUTO PAN」を選択してカメラ（セット）ボタンを押すと、AUTO PAN設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。（⇒41ページ）
PATROL1～4　：パトロール機能で設定した動作を行います。
AUTO TRACK　：以下の条件で移動物体の自動追尾を行います。
大きさが画面の1/48ブロック以上で、背景画像とのコントラスト比が5 %以上の場合。

補足

- 自動追尾の範囲は水平から真下までです。デジタルフリップ機能（⇒45ページ）は動作しません。また、PAN LIMIT設定（⇒41ページ）により、パン（水平）動作範囲を制限することができます。
- 本機に搭載されている自動追尾機能は、画面上の動く物体を追尾する簡易的な機能です。以下のような場合は、移動物体を自動追尾できません。
  - 画面内に複数の移動物体が存在する場合
  - 移動物体の速度が速い場合
  - 映像が暗い場合
  - 被写体にコントラストがない場合
  - 移動物体が小さいまたは大きい場合
  - 映像にちらつきがある場合

設定内容は、次のように切り替わります。

OFF↔SEQ↔SORT↔AUTO PAN↔PATROL1↔PATROL2
↑→ AUTO TRACK↔PATROL4↔PATROL3 ←↑

メモ

- AUTO PAN動作時にパン・チルトを、SEQ、SORT、PATROL、AUTO TRACK動作時にパン・チルトやズーム・フォーカスを手動操作すると、オートモードは解除されます。ただし、設定メニュー上は変更されませんので、オートモードに戻したい場合は、一度セットアップメニューを開いてから閉じてください。また、セルフリターンの設定時間（⇒39ページ）が経過したあとでもオートモード機能が働き始めます。
- 動作中にレンズがリフレッシュモードに入ることがあります。
- PATROL1～4は、設定したパトロール記憶数（⇒42ページ）のみ表示されます。

●AUTO PANの詳細内容を設定する

1 パンのスタート位置とエンド位置を次の手順で設定します

① カーソルを「POSITION」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
「START」にカーソルが移動します。
② ジョイスティックでカメラを動かしてパンのスタート位置を決め、カメラ（セット）ボタンを押します
スタート位置が決定し、「END」にカーソルが移動します。
③ ジョイスティックでカメラを動かしてパンのエンド位置を決め、カメラ（セット）ボタンを押します
エンド位置が決定し、「POSITION」にカーソルが移動します。

2 カーソルを「SPEED」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、パンの旋回速度を設定します

H方向（右方向）に動かすと旋回速度が速くなり、L方向（左方向）に動かすと旋回速度が遅くなります。

3 カーソルを「ENDLESS」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、エンドレス旋回のON/OFFを設定します

ON　：スタート位置からエンド位置に向かってパン旋回し、次に同じ方向に旋回してエンド位置からスタート位置に戻ります。PAN LIMIT（手順5）は「OFF」に設定してください。以後この動作を繰り返します。
OFF　：スタート位置からエンド位置に向かってパン旋回し、次に逆方向に旋回してエンド位置からスタート位置に戻ります。以後この動作を繰り返します。

4 カーソルを「STOP TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、スタート位置およびエンド位置での停止時間を設定します

停止時間の表示は次のように切り替わります。（単位：秒）

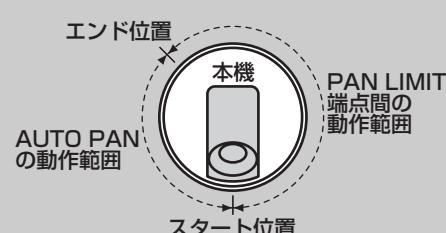
0S ↔ 1S ↔ 2S ↔ 3S ↔ 5S ↔ 10S ↔ 20S ↔ 30S

5 カーソルを「PAN LIMIT」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON　：手動操作時は、PAN LIMIT端点間へカメラを向けることができません。チルト（垂直）の動作範囲は、水平から真下までです。ENDLESS（手順3）は「OFF」に設定してください。
OFF　：手動操作時でも、PAN LIMIT端点間へカメラを向けることができます。

PAN LIMIT端点間とは

手順1で設定したスタート位置からエンド位置までの端点間の反対側をPAN LIMIT端点間といいます。

設定のしかた

❻ AUTO PANキーの設定［AUTO PAN KEY］

システムコントローラーからAUTO PAN実行操作を行ったときに起動される、本機動作モード（⇒40ページ）を設定します。

1 カーソルを「AUTO PAN KEY」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、動作モードを設定します

動作モードは次のように切り替わります。

AUTO PAN↔SEQ↔SORT↔PATROL1↔PATROL2↔PATROL3↔PATROL4↔AUTO TRACK

メモ

・AUTO PANキーによるオートモードの開始はできますが、停止はできません。
・PATROL1～4は、設定したパトロール記憶数（⇒42ページ）のみ表示されます。

❼ パトロール機能を設定する［PATROL］

手動で操作した内容を記憶し、再現する機能です。

1 カメラの動作を記憶するときは、メニューを閉じた状態でカメラの向きを動作開始位置に合わせます

2 カーソルを「NUMBER」に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、パトロール記憶数を設定します

記憶数は以下のように切り替わります。記憶数により、記憶できる時間が変わります。記憶時間の表示は、次のように切り替わります。（単位：秒、分）

1（2MIN）↔ 2（1MIN）↔ 4（30S）

記憶数を変更するときは、記憶したパトロールをすべて消去してから行ってください。すべて消去する場合は、カーソルをRESETに合わせ、カメラ（セット）ボタンを押してください。

3 カーソルをPATROL1～4に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、パトロール機能を設定します

―――	：該当のパトロール機能を使用しません。
PLAY	：記憶したカメラ動作を再現します。（⇒43ページ、PLAYを選択した場合）
LEARN	：カメラ動作を記憶します。（記憶済みの場合、PATROL項目の右に「＊」が表示されます。）（⇒43ページ、LEARNを選択した場合）
DEL→PUSH SET	：カメラ（セット）ボタンを押すと、記憶したカメラ動作を消去します。

<PLAYを選択した場合>

（1）システムコントローラーの「F2」ボタンを押して、メニューを閉じます

カメラの向きが記憶開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。

（2）再現を終了するときは、パン・チルトやズーム・フォーカスなどを手動操作します

<LEARNを選択した場合>

（1）システムコントローラーの「F2」ボタンを押して、メニューを閉じます

開始位置が記憶され、カメラ動作を記憶する状態になります。

（2）カメラを操作し、動作を記憶します

記憶中は画面中央に「LEARNING（○○○S）」の文字が表示されます。（単位：秒）
※「(○○○S)」は、記憶可能な残り時間を表します。

（3）セットアップメニューを表示し、記憶を停止します

残り時間の表示が「0S」に到達したときも記憶を停止します。（単位：秒）

メモ

- 「LEARN」を選択してカメラ動作を記憶する場合、記憶される内容は次のとおりです。
  - ① 動作開始位置記憶時
    パン・チルト・ズーム・フォーカスの位置／IRISのレベル／
    シャッター速度（SHUTTER）のレベル／ゲイン（AGC）の設定／電子感度アップ（SENS UP）の設定／ホワイトバランス（WHITE BAL）の設定
  - ② カメラ操作時
    パン・チルト・ズーム・フォーカス／IRISのOPEN/CLOSE／プリセットポジションの移動
- パトロール動作中は、オートフォーカス機能が動作しません。このとき、ズームレンズの特性としてWIDE（広角）側からズームアップした場合、ピントがぼけます。ズーム動作を記憶する場合は、TELE（望遠）側からスタートするとピントのズレが抑えられます。
- パトロールの動作範囲は、水平から真下までです。デジタルフリップ機能（⇒45ページ）は動作しません。

❽ プライバシーゾーンを設定する［PRIVACY ZONE］

撮影場所（画面）中の写したくない部分をプライバシーゾーンとして設定して、写さないようにすることができます。プライバシーゾーンは、8か所まで設定できます。

メモ

- 設定したプライバシーゾーンは、カメラの向きによっては写ってしまう場合もあります。
- 電源投入直後の初期化動作時は、プライバシーゾーン機能は働きません。

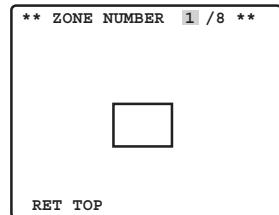
1 カーソルを「PRIVACY ZONE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON（1）/ON（2）/OFFを切り替えます

ON（1）：プライバシーゾーンを使用します。(黒抜き）
ON（2）：プライバシーゾーンを使用します。（モザイク）
OFF　　：プライバシーゾーンを使用しません。

プライバシーゾーンの設定は、手順2以降の操作を行います。

（⇒次ページへ続く）

2 カーソルを「PRIVACY ZONE」の項目に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

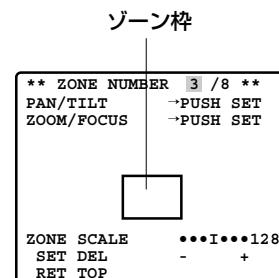
ゾーン番号選択メニューが表示されます。エリア未設定時、画面はWIDE（広角）になります。

3 カーソルを「ZONE NUMBER」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、設定したいゾーン番号（1～8）を選択します

ゾーン番号右側の「*」印は、プライバシーゾーンが設定されていることを表します。この場合、設定時のズーム画角になります。

4 カメラ（セット）ボタンを押します

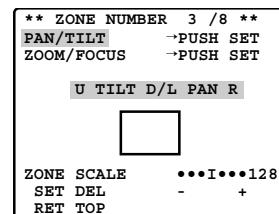
ゾーンの設定状態により、ゾーン設定メニューが次のように表示されます。

設定されているゾーンが画面中央に表示されます。

手順5以降の操作をすると、設定されているゾーンは消去され、新しいゾーンを設定する状態になります。

5 PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押します

PAN/TILT設定メニューが表示されます。

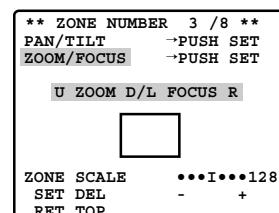
6 ジョイスティックを上下左右に動かしてカメラの向き（水平・垂直位置）をゾーン設定したい場所に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

カメラの向きが決定し、ゾーン設定メニューに戻ります。

7 ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

ZOOM/FOCUS設定メニューが表示されます。

8 ジョイスティックを上下左右に動かし、レンズのズーム・フォーカス位置を調整し、カメラ（セット）ボタンを押します

調整が完了し、ゾーン設定メニューに戻ります。

ズーム調整は1倍～10倍の範囲で設定できます。

9 カーソルを「ZONE SCALE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ゾーン枠の大きさを設定します

−方向に動かすと小さくなり、＋方向に動かすと大きくなります。ただし、縦横の比率は3:4に固定されています。また、ズーム倍率により設定できるゾーン枠の大きさは異なります。

10 カーソルを「SET」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

プライバシーゾーンの設定が完了し、ゾーン番号選択メニューに戻ります。
「DEL」を選択した場合は、ゾーンの設定を解除してゾーン番号選択メニューに戻ります。

❾ イメージホールドを設定する［IMAGE HOLD］

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了するまで、移動前の映像を静止画で表示する機能です。ネットワークインターフェースユニットを使用して、ネットワーク経由でカメラ映像を監視するときに便利です。

1 カーソルを「IMAGE HOLD」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON　：プリセットポジションの移動が完了するまで、移動前の映像を静止画で表示します。
OFF　：プリセットポジションの移動中も、そのままの映像を表示します。

❿ デジタルフリップ機能の設定［DIGITAL FLIP］

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向0°～180° をワンモーションで回転することができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。（135° 付近で画像の上下左右を反転します。）

1 カーソルを「DIGITAL FLIP」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON　：デジタルフリップ機能を使用します。（PAN LIMITがONのときは90° までの回転となります。）
OFF　：デジタルフリップ機能を使用しません。垂直方向0°～90° の範囲で回転します。

メモ

- デジタルフリップ機能は、ジョイスティックを真下に向け続けたときに動作します。上、斜め上のときは動作しません。
- デジタルフリップ機能を「OFF」に設定している場合、カメラを垂直方向に180° 動かすには次の操作が必要です。
  ① ジョイスティックを下に動かし、カメラを真下に向ける
  ② ジョイスティックを左または右に動かし、カメラを水平方向に180° 回転させる
  ③ ジョイスティックを上に動かす
- WJ-SX777DやWV-CU360Cによるプリセットのダイレクト設定時は、一時的にデジタルフリップ機能を「OFF」に、ズームリミット設定を30倍以下にしてください。
  垂直方向90° ～180° の範囲は設定できません。

設定のしかた

⓫ ズーム連動パン・チルトスピード機能を設定する [PROPO. P/T]

ズーム比に応じてパン・チルト（水平回転/垂直回転）の動作速度を自動調節し、最適な映像を見ることができる機能です。

1 カーソルを「PROPO. P/T」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

⓬ エリアタイトルを設定する［AREA TITLE]

撮影場所の方角を画面に表示する機能の設定です。また、方角の代わりに任意の文字を表示することもできます。
表示する方角は、N（北）、NE（北東）、E（東）、SE（南東）、S（南）、SW（南西）、W（西）、NW（北西）です。

1 カーソルを「AREA TITLE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、エリアタイトルのON/OFFを設定します

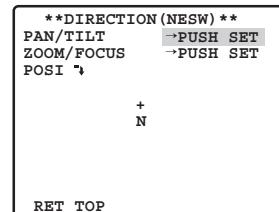
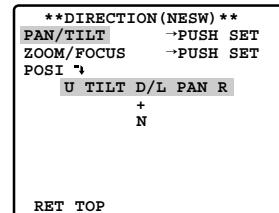
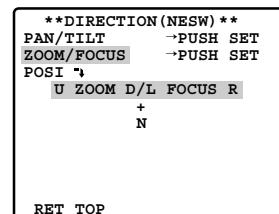
ON（NESW）：方角を画面に表示します。
「ON（NESW)」を選択してカメラ（セット）ボタンを押すと、ポジション（NESW）設定メニューが表示され、詳細設定を行うことができます。(⇒47ページ)

ON（USER）：設定した文字を画面に表示します。
「ON（USER)」を選択してカメラ（セット）ボタンを押すと、エリアタイトル（USER）選択メニューが表示され、詳細設定を行うことができます。(⇒48ページ)

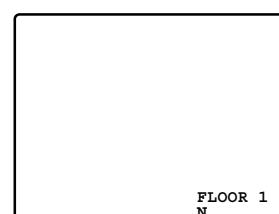
OFF：エリアタイトルを表示しません。

(1)「ON(NESW)」を選択した場合

ポジション(NESW)設定メニューで、詳細設定を行うことができます。
「N(北)」の位置を設定することにより、他の方角が自動的に設定されます。

1 **PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します**
PAN/TILT設定メニューが表示されます。

2 **ジョイスティックを上下左右に動かしてカメラの向き(水平・垂直位置)を北の方角に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します**

3 **ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します**
ZOOM/FOCUS設定メニューが表示されます。

4 **ジョイスティックを上下左右に動かし、レンズのズーム・フォーカス位置を調整し、カメラ(セット)ボタンを押します**

5 **カーソルを「POSI ⤵」に合わせ、カメラ(セット)ボタンを押します**
表示位置設定メニューが表示されます。

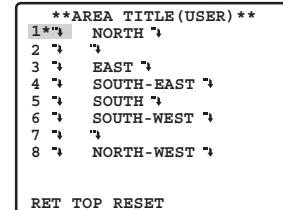
6 **ジョイスティックを動かしてエリアタイトルの表示位置を設定し、モニター(ESC)ボタンを押します**
エリアタイトルの表示位置が決定し、エリアタイトル(NESW)設定メニューに戻ります。

メモ

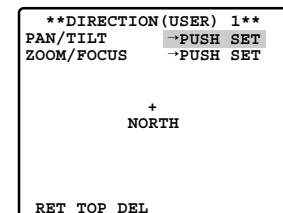
エリアタイトルは、常にカメラIDの下側に表示されます。カメラIDの表示位置とエリアタイトルの表示位置を別々の位置に設定した場合、エリアタイトルの表示位置設定が優先されます。

(2)「ON（USER)」を選択した場合

エリアタイトル（USER）選択メニューを表示して、詳細設定を行う場合の操作です。
8種類の方角と、そのエリアタイトルを個別に設定していきます。

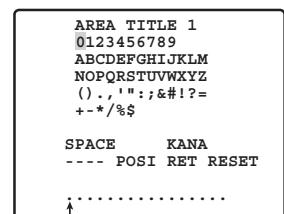
1 カーソルをエリア番号「1」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

ポジション設定メニューが表示されます。番号右側の「*」印は、エリアタイトルが設定されていることを表します。
設定されているタイトルは、「+」印の下に表示されます。設定されていない場合は、「+」印のみ表示されます。

2 カメラの向き（水平・垂直位置)、ズーム位置、フォーカス調整を行います

操作方法は、「(1）ON（NESW）を選択した場合」の手順1,2,3,4と同じです。(⇒47ページ)

3 ジョイスティックを右に動かしてカーソルをタイトル名表示部に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

エリアタイトル設定メニューが表示されます。
手順1の画面例では「NORTH ↴」がエリア番号1のタイトル名表示部になります。

4 エリアタイトルを設定します

操作方法は、カメラIDの設定方法と同じです。
「❶カメラIDを設定する（⇒23ページ)」の手順3,4,5の操作を行い、タイトル名と表示位置を設定してください。

5 手順1〜4の操作を繰り返し、エリア番号2〜8を設定します

⓭ チルトの動作範囲を設定する［TILT ANGLE］

水平位置よりも上を監視したい場合に、5°の設定にします。

1 カーソルを「TILT ANGLE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、0°～5°を切り替えます

メモ

・「TILT ANGLE」を5°に設定したとき、WIDE側（広角）で、画面の上部約半分が隠れます。
・被写体によっては、AGCの効果により、映像が白くなる場合があります。

⓮ クリーニング機能を設定する［CLEANING］

本機ではスリップリングと呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、画質の劣化やノイズが発生する場合があります。
クリーニング機能を使用すると、約1週間ごとにクリーニング機能が動作し、スリップリングの汚れを除去することができます。

1 カーソルを「CLEANING」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

クリーニング機能が動作しているときは、画面中央に「CLEANING」の文字が表示されます。

メモ

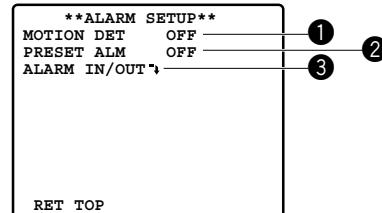
システムコントローラーにプリセットデータをアップロード、ダウンロードするときは、クリーニング機能を「OFF」にしてください。途中でクリーニング機能が動作すると、アップロード、ダウンロードが失敗します。

アラーム設定

アラーム設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、アラーム設定メニューを表示し、各メニュー項目の設定を行います。
最初に、アラーム設定メニューを表示します。

1 **セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「ALARM ⮯」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**

アラーム設定メニューが表示されます。

※各アラーム設定メニュー❶～❸を順番に説明します。

❶ モーションディテクターの設定［MOTION DET］

1 **カーソルを「MOTION DET」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、モーションディテクター機能を設定します**

OFF ：モーションディテクター機能を使用しません。
MODE1 ：映像に動きを検出したときにアラーム信号を送出します。「MODE1」を選択してカメラ（セット）ボタンを押すと、モード1設定メニューが表示され、詳細設定を行うことができます。
MODE2 ：カメラが、布、スプレー、蓋などで覆い隠されたときにアラーム信号を送出します。

モーションディテクター機能とは

1画面を48ブロックに分割してブロックごとに輝度の変化を認識することで、撮影場所の映像に変化（動き）が生じたときにアラーム信号を送出する機能です。オートモードで動作しているときに映像の変化（動き）を検出すると、アラーム信号を送出するとともに検出したプリセットポジションに設定した時間カメラを停止させることができます。

重要！MODE2について

・以下の場合、検出できない可能性があります。
　・画面の一部しか覆い隠されていない場合や、覆いが透けている場合
・また、以下のような場合、誤検出する可能性があります。
　・照明のON/OFFなど明るさの変化が大きい場合
　・人や車などの交通量が多い場合

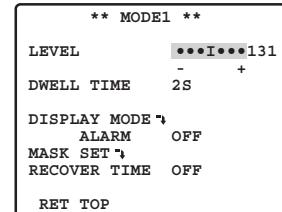
メモ

プリセットポジションごとに、モーションディテクターを設定したい場合は、シーンファイルをご使用ください（⇒37ページ）。

●モーションディテクター機能の詳細設定を行う

```
        ** MODE1 **

LEVEL          •••I•••131
               -      +
DWELL TIME     2S

DISPLAY MODE ↴
     ALARM     OFF
MASK SET ↴
RECOVER TIME   OFF

 RET TOP
```

1 「MASK SET ↴ 」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

マスク設定画面が表示されます。

2 映像変化（動き）を検出しないエリアにマスクを設定します

マスクの設定方法は、25ページの手順5（SUPER-DⅢの設定）を参照してください。マスク設定後、モニター（ESC）ボタンを押すとモーションディテクター設定メニューに戻ります。

3 カーソルを「ALARM」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、デモモード時（手順4）のアラーム動作を設定します

ON　：デモモード時にアラームを出力します。
OFF　：デモモード時にアラームを出力しません。

4 「DISPLAY MODE 」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

デモモードが実行されます。

デモモードとは

1画面を48ブロックに分割した状態で輝度変化の検出を行い、設定した検出感度レベルを超える輝度平均の変化が起こった部分をマスク表示します。デモモードの結果をもとに、検出感度レベルの調整（手順5）や検出エリアの設定（手順1）を繰り返し、最適の状態にします。

5 カーソルを「LEVEL」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、検出感度レベルを設定します

＋方向に動かすと感度が上がり、－方向に動かすと感度が下がります。手順4,5を繰り返し最適のレベルに設定します。

検出条件

被写体の大きさ　：動く物体は画面の1/48ブロック以上の大きさが必要。
被写体のコントラスト　：背景画像と動く物体のコントラスト比が5 %（最大感度設定時）以上必要。
被写体の動く速さ　：画面の端から端を物体が通過する時間が0.1秒～0.8秒必要。それよりも速く、または遅く動く物体は検出できません。
注: コントラスト比が十分な場合は、大きさ・動く速さの制限は緩和されます。

6 カーソルを「DWELL TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アラーム検出の間引き時間を設定します

アラーム検出後、設定時間が経過するまでは、次のアラームは検出されません。
時間の表示は次のように切り替わります。（単位：秒）

2S↔5S↔10S↔30S
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿↑

（⇒次ページへ続く）

7 カーソルを「RECOVER TIME」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、アラーム復帰時間を設定します

時間の表示は次のように切り替わります。（単位：分）
「OFF」に設定した場合は、別の操作をするまで復帰しません。「AUTO TRACK」に設定した場合は、SEQ、SORT中に映像変化を検出したとき、自動追尾動作を行います。

OFF ↔ 1MIN ↔ 2MIN ↔ 3MIN ↔ 5MIN ↔ 10MIN ↔ 20MIN ↔ 30MIN ↔ 60MIN ↔ AUTO TRACK

メモ

- 通常はSEQモードで監視し、映像変化を検出したときに自動追尾を行って、一定時間経過後にSEQに戻したい場合は、セルフリターン設定を「SEQ」に設定してください。
- 風に揺れるカーテンなどを検出する場合は、マスク設定により検出エリアから除外してください。
- 低照度下のノイズが多い条件では誤動作する場合がありますので、感度（LEVEL）を下げてご使用ください。また、車のヘッドライトや照明のON/OFFなどにより被写体の照度が急激に変化する場合は、誤検出する場合があります。
- 本機で映像の変化（動き）を検出してから、VTRなどのアラーム端子に信号が送られるまでに、約0.2秒の遅れがあります。
- 設定メニューを表示している場合、アラームは出力されません。ただし、デモモードでアラームをONにしているときは除きます（⇒51ページ）。
- パン・チルト・ズーム・フォーカスなどの動作中は、アラームは出力されません。
- モーションディテクター機能を「MODE1」または「MODE2」にすると、ブランキング期間にアラームデータを出力するため、VTRのタイムコードなどを使用する機器は誤動作します。同軸通信をしないときは、モーションディテクター機能を「OFF」にしてください。
- モーションディテクター機能は盗難、火災などの専用防止装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切負いかねます。

❷ プリセットアラーム機能を設定する［PRESET ALM］

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了したときに、映像出力ケーブルおよびアラーム出力ケーブルにアラームを出力する設定です。
アラームを出力する条件は次のとおりです。

- セルフリターン機能（⇒39ページ）が働き、ホームポジションに移動が完了したときやオートモードに切り替わったときにアラームを出力する。
- オートモードの設定（⇒40ページ）が「SEQ」の場合、シーケンス動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- オートモードの設定（⇒40ページ）が「SORT」の場合、ソート動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- オートモードの設定（⇒40ページ）が「AUTO PAN」の場合、AUTO PAN開始位置までのプリセット移動が完了したときにアラームを出力する。
- 手動操作によりプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- パトロール機能の設定（⇒42ページ）が「PLAY」の場合、開始位置までのプリセット移動が完了するごとにアラームを出力する。

設定方法は次のとおりです。

1 **カーソルを「PRESET ALM」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます**

ON　：プリセットアラーム機能を使用します。
OFF　：プリセットアラーム機能を使用しません。

<u>メモ</u>
プリセットデータのダウンロード、アップロード時は「OFF」にしてください。

❸ アラーム機能を設定する［ALARM IN/OUT］

本機のアラーム入力ケーブル、アラーム出力ケーブルにアラーム信号の入出力があった場合の動作設定を行います。

1 **カーソルを「ALARM IN/OUT ↵」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**

アラーム設定メニューが表示されます。

2 **カーソルを「ALARM IN 1」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力1端子に信号を受けたときのカメラ動作を設定します**

```
      **ALARM IN/OUT**
ALARM IN1     AUTOTRACK1
ALARM IN2     OFF
ALARM IN3     OFF
ALARM IN4     OFF

CNT-CLS 1     ALARM
 TIME OUT     100MS
CNT-CLS 2     OFF
COAX ALM OUT  OFF

 RET TOP
```

OFF　：アラーム入力前と同じ動作をします。
1POSI　：プリセット番号1のポジションに移動します。
AUTOPAN　：オートパン動作を開始します。
PATROL1　：パトロール１動作を開始します。
PATROL1（S）　：パトロール1動作を開始し、終了後も記憶した画質設定（⇒43ページ）を継続します。
AUTOTRACK1　：プリセット番号1のポジションに移動したあと、自動追尾を行います。

3 **カーソルを「ALARM IN 2」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力2端子に信号を受けたときの動作を設定します**

OFF　：アラーム入力前と同じ動作をします。
2POSI　：プリセット番号2のポジションに移動します。
SEQ　：シーケンス動作を開始します。
PATROL2　：パトロール2動作を開始します。
PATROL2（S）　：パトロール2動作を開始し、終了後も記憶した画質設定（⇒43ページ）を継続します。
AUTOTRACK2　：プリセット番号2のポジションに移動したあと、自動追尾を行います。

（⇒次ページへ続く）

4 **カーソルを「ALARM IN 3」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力3端子に信号を受けたときの動作を設定します**

OFF　：アラーム入力前と同じ動作をします。
3POSI　：プリセット番号3のポジションに移動します。
SORT　：ソート動作を開始します。
PATROL3　：パトロール3動作を開始します。
PATROL3（S）：パトロール3動作を開始し、終了後も記憶した画質設定（⇒43ページ）を継続します。
AUTOTRACK3　：プリセット番号3のポジションに移動したあと、自動追尾を行います。

5 **カーソルを「ALARM IN 4」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力4端子に信号を受けたときの動作を設定します**

OFF　：アラーム入力前と同じ動作をします。
4POSI　：プリセット番号4のポジションに移動します。
BW　：信号が入力されている間、白黒映像を表示します。
PATROL4　：パトロール4動作を開始します。
PATROL4（S）：パトロール4動作を開始し、終了後も記憶した画質設定（⇒43ページ）を継続します。
AUTOTRACK4　：プリセット番号4のポジションに移動したあと、自動追尾を行います。

補足

- PATROL1（S）～4（S）は、アラーム入力によって画質設定を切り替えたい場合（例えば昼と夜で切り替えたい場合など）に使用します。ALARM IN4の「BW」と併用することもできます。
  この用途で使用する場合、パトロール記憶前に、切り替えたい画質設定を行い、パトロール記憶を開始して、すぐに終了させてください。
- PATROL1（S）～4（S）でアラーム入力によって画質設定を切り替えた場合、カメラ設定にその内容が反映され、電源再投入時も継続されます。
- PATROL1（S）～4（S）は、設定したパトロール記憶数（⇒42ページ）のみ表示されます。

6 **カーソルを「CNT-CLS 1」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アラーム検知時のアラーム出力1端子から外部へのアラーム出力動作を設定します**

OFF　：外部へのアラーム出力はしません。
ALARM　：モーションディテクター機能（⇒50ページ）およびプリセットアラーム機能（⇒52ページ）にてアラームを検知したときにアラーム信号を出力します。この設定にした場合は、アラーム信号の出力時間を手順7で設定します。
AUX1　：システムコントローラーから「AUX1」の入力があったときに端子クローズ信号を出力します。

7 手順6で「ALARM」を選択したときは、カーソルを「TIME OUT」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、アラーム信号の出力時間を設定します

出力時間の表示は次のように切り替わります。（単位：ms）

100MS ↔ 200MS ↔ 1000MS ↔ 2000MS ↔ 4000MS
（4000MS ↔ 100MS）

8 カーソルを「CNT-CLS 2」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アラーム検知時のアラーム出力2端子から外部へのアラーム出力動作を設定します

OFF　：外部へのアラーム出力はしません。
BW　：白黒映像に切り替わっている間だけ端子クローズ信号を出力します。
AUX2　：システムコントローラーから「AUX2」の入力があったときに端子クローズ信号を出力します。

9 カーソルを「COAX ALM OUT」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

手順2,3,4,5でALARM IN 1～4を「1POSI」「2POSI」「3POSI」「4POSI」に設定した場合のアラーム出力動作設定です。

ON　：アラーム入力1～4端子にアラーム入力があり、カメラの向きがプリセット番号1～4に移動完了した時点で、映像出力ケーブルからアラーム信号を出力します。
OFF　：アラーム信号を出力しません。

メモ

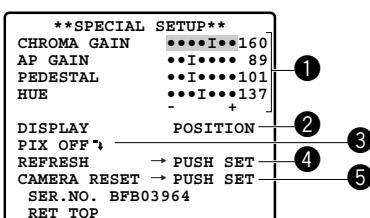
システムコントローラーにプリセットデータをダウンロード、アップロードするときは「OFF」にしてください。

特別設定

特別設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、特別設定メニューを表示し、画質の調整を行います。
最初に、特別設定メニューを表示します。

1 **セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「SPECIAL ⇣」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**

特別設定メニューが表示されます。

※各特別設定メニュー❶〜❺を順番に説明します。

❶ 画質を調整する

1 **カーソルを「CHROMA GAIN」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、クロマレベル（色度）を好みに合わせて調整します**

2 **カーソルを「AP GAIN」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アパーチャー（輪郭補正）を好みに合わせて調整します**

3 **カーソルを「PEDESTAL」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、画像の黒レベルを好みに合わせて調整します**

4 **カーソルを「HUE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、クロマ位相（色調）レベルを調整します**

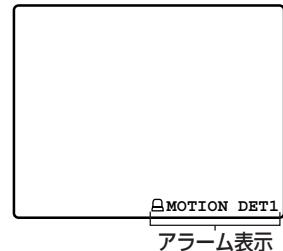
❷ 画面表示の設定をする［DISPLAY］

1 **カーソルを「DISPLAY」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、画面表示の動作を設定します**

OFF ：パン・チルト・ズーム位置表示、アラーム表示を行いません。
POSITION ：パン・チルト・ズーム位置表示のみ行います。アラーム表示は行いません。
ALARM ：アラーム表示のみ行います。パン・チルト・ズーム位置表示は行いません。工場出荷時の設定です。
ALL ：パン・チルト・ズーム位置表示、アラーム表示をすべて行います。

設定のしかた

アラーム表示の表示名と種別の対応は、下表のとおりです。

表示名	アラーム種別
MOTION DET1	MOTION DET（MODE1）
MOTION DET2	MOTION DET（MODE2）
ALARM IN1	ALARM IN 1
ALARM IN2	ALARM IN 2
ALARM IN3	ALARM IN 3
ALARM IN4	ALARM IN 4

メモ

・パン・チルト・ズーム位置のモニター画面への表示（パン・チルト・ズーム操作時）／非表示の切り替え、およびアラーム種別のモニター画面への表示は、ショートカット操作（⇒63ページ）で行うこともできます。
　※チルト位置は、−5°〜−90°〜−5°の間で表示されます。
・レンズの絞り方法がALCのときに、アイリスを全閉状態にすると、「IRIS CLOSE」がパン・チルト・ズーム位置表示の下に表示されます。レンズの絞り方法がMANUALのとき、「IRIS CLOSE」は表示されません。

❸ 傷の補正を行う［PIX OFF］

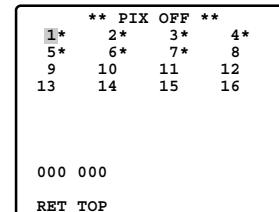
1 カーソルを「PIX OFF ↵」の項目に合わせて、カメラ（セット）ボタンを押します

PIX OFFメニューが表示されます。以下の手順で傷の補正を行います。

2 白い点（傷）のある位置の数字を選択し、カメラ（セット）ボタンを押します

傷補正位置設定画面が表示されます。

① ジョイスティックを上下左右に動かすことにより、傷位置まで ⁜ カーソルを移動させます
② 白い点（傷）が目立たなくなる位置まで ⁜ カーソルを移動させたあと、カメラ（セット）ボタンを押します
　傷補正位置が設定されます。
③ PIX OFFメニューに戻ります
　傷補正位置が設定されている場合、数字の右に「＊」が表示されます。

```
      ** PIX OFF **
 1*    2*    3*    4*
 5*    6*    7*    8
 9    10    11    12
13    14    15    16


000 000

RET TOP
```

［傷補正位置を消去したい場合］

① PIX OFFメニュー画面で該当する数字を選択し、カメラ（セット）ボタンを押します
　傷補正位置設定画面が表示されます。
② F3ボタンを押します
③ PIX OFFメニューに戻ります
　傷補正位置が消去され、数字右の「＊」表示が消えます。

❹ ポジション位置を補正する［REFRESH］

1 使用中にポジションの位置がずれたときは、カーソルをREFRESH右側の「→PUSH SET」に合わせ、F3ボタンを押します

本機を使用中にポジション設定された位置からカメラがずれた場合、リフレッシュ機能を使用すると位置が補正されます。

❺ カメラの設定内容を初期値に戻す［CAMERA RESET］

1 カメラの設定内容を初期値に戻すときは、カーソルをCAMERA RESET右側の「→PUSH SET」に合わせ、F4ボタンを押します

設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。ただし、プリセットポジション、AUTO PAN、パトロール、RS485、傷補正位置、パスワードの設定内容は変更されません。

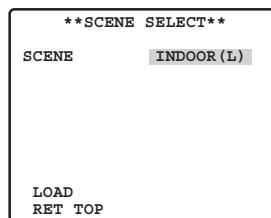
メモ

カーソルがCAMERA RESET以外にある状態で上記操作を行うと、メニュー操作ができない場合があります。その場合は、22ページ「セットアップメニューの表示方法」にしたがい、再度メニューを開いてください。

シーンセレクト設定

シーンセレクト設定メニューの設定をする

セットアップメニューから、シーンセレクト設定メニューを表示し、シーンセレクトの設定を行います。最初に、シーンセレクト設定メニューを表示します。

1 **セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「SCENE SELECT ➘」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**
シーンセレクト設定メニューが表示されます。

シーンセレクトを設定する

シーンセレクトを設定する手順を説明します。

1 **カーソルを「SCENE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、シーン設定を切り替えます**
INDOOR（L）　：屋内設定（画質優先）
INDOOR（H）　：屋内設定（感度優先）
OUTDOOR（L）　：屋外設定（画質優先）
OUTDOOR（H）　：屋外設定（感度優先）
シーン設定により、映像に関する設定項目が切り替わります。シーン設定と各設定項目の対応は、下表のとおりです。

	AGC	SENS UP	SHUTTER	BW	DNR	WHITE BAL
INDOOR（L）	MID	OFF	OFF	OFF	LOW	ATW1
INDOOR（H）	HIGH	×2 AUTO	OFF	OFF	HIGH	ATW1
OUTDOOR（L）	MID	OFF	AUTO	AUTO	LOW	ATW2
OUTDOOR（H）	HIGH	×2 AUTO	AUTO	AUTO	HIGH	ATW2

2 **カーソルを「LOAD」の項目に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**
「SCENE」で選択した設定が映像に反映されます。

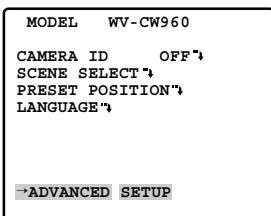
簡単メニュー設定

簡単メニューに切り替える

セットアップメニューから、簡単メニュー表示に切り替えます。

1 **セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「→QUICK SETUP」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します**

詳細メニューから簡単メニューに表示が切り替わります。
簡単メニューでは、以下の項目のみ設定できます。
・カメラID設定（⇒23ページ）
・シーンセレクト設定（⇒59ページ）
・プリセットポジション設定（⇒33ページ）
・言語設定（22ページ）

```
 MODEL   WV-CW960

CAMERA ID     OFF
SCENE SELECT
PRESET POSITION
LANGUAGE




→ADVANCED SETUP
```

簡単メニューでの各項目の設定方法については、詳細メニューの場合と同じです。
簡単メニューから詳細メニューに切り替えるには、カーソルを「→ADVANCED SETUP」の項目に合わせて、カメラ（セット）ボタンを押してください。

パスワード設定

パスワードロック機能を設定する

セットアップメニューから、パスワードロックの設定を行います。

パスワードロック機能のON/OFFを切り替える

パスワードロック機能によって、管理者のみが各種設定の変更を行えるように制限することができます。パスワードロックのON→OFFへの切り替え、およびOFF→ONへの切り替えには、必ずパスワード入力が必要となります。

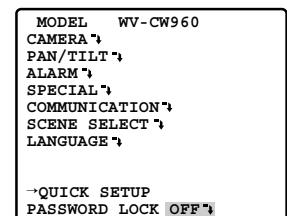
ON　：パスワードロック機能を除く、すべてのメニュー設定を禁止します。
　　　特定の管理者だけが設定の変更をする場合はこの設定にします。

OFF　：全メニューの設定・変更ができます。

VTRに録画していると、入力操作が録画されパスワードがわかってしまいますので、ご注意ください。

1 セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「PASSWORD LOCK」の項目（ONまたはOFF）に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

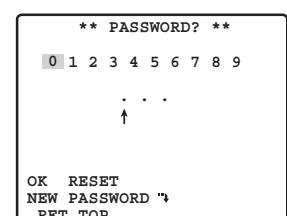
パスワード入力メニューが表示されます。

```
 MODEL    WV-CW960
CAMERA
PAN/TILT
ALARM
SPECIAL
COMMUNICATION
SCENE SELECT
LANGUAGE


→QUICK SETUP
PASSWORD LOCK OFF
```

2 初めてパスワードを設定する場合は、工場出荷時のパスワード「123」を入力し、カメラ（セット）ボタンを押します

> **補足**
>
> **必ずこの手順を行ってください。パスワードロックのON/OFFが切り替わりません。**

3 カーソルを数字（0～9）に合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、パスワード（3桁）を入力します

1桁入力するごとに「↑」印が右に移動し、3桁のパスワードを入力するとカーソルが「OK」に移動します。
入力を間違えたときは、「RESET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、最初からパスワードを入れ直してください。

> **補足**
>
> **工場出荷時のパスワードは「１２３」です。**

4 カメラ（セット）ボタンを押します

セットアップメニューに戻り、パスワードロックのON/OFFが切り替わります。
誤ったパスワードが入力されると、再度パスワードを入力する状態になりますので、手順3の操作を行ってください。

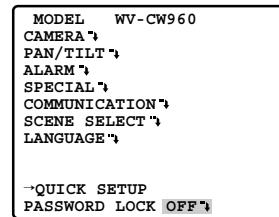
設定のしかた

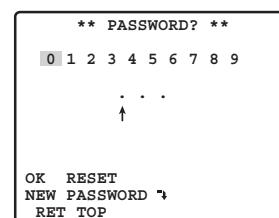
パスワードを変更する

パスワードロック機能を「ON」で使用する場合は、工場出荷時のパスワードを変更することをおすすめします。設定したパスワードは忘れないように注意してください。
VTRに録画していると、入力操作が録画されパスワードがわかってしまいますので、ご注意ください。

1 セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「PASSWORD LOCK」の項目（ONまたはOFF）に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

パスワード入力メニューが表示されます。

```
 MODEL   WV-CW960
CAMERA
PAN/TILT
ALARM
SPECIAL
COMMUNICATION
SCENE SELECT
LANGUAGE


→QUICK SETUP
PASSWORD LOCK OFF
```

2 カーソルを数字（0〜9）に合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、現在のパスワード（3桁）を入力します

1桁入力するごとに「↑」印が右に移動し、3桁のパスワードを入力するとカーソルが「OK」に移動します。
入力を間違えたときは、「RESET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、最初からパスワードを入れ直してください。

3 カーソルを「NEW PASSWORD 」に合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、パスワード設定メニューを表示します

誤ったパスワードが入力されると、再度パスワードを入力する状態になりますので、手順2の操作を行ってください。

4 カーソルを数字（0〜9）に合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、新しいパスワード（3桁）を入力します

カーソルが「OK」に移動します。

```
 ** NEW PASSWORD? **

 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

        . . .
        ↑
        . . .

OK  RESET

 RET TOP
```

5 カメラ（セット）ボタンを押します

もう一度新しいパスワードを入力する状態になります。
モニター（ESC）ボタンでは設定できません。

6 カーソルを数字（0〜9）に合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、もう一度新しいパスワード（3桁）を入力します

カーソルが「OK」に移動します。

7 カメラ（セット）ボタンを押します

パスワードの変更が完了し、セットアップメニューに戻ります。1回目と2回目に入力したパスワードが違っていると、再度パスワードを入力する状態になりますので手順4,5,6,7の操作を行ってください。モニター（ESC）ボタンでは設定できません。

ショートカット操作について

「カメラ機能」ボタンのあるシステムコントローラーを使用すると、テンキーとカメラ機能ボタン操作で機能の設定をすることができます。(ショートカット操作)
本機で使用できるショートカット操作は次のとおりです。プリセットポジションの移動もプリセット番号をテンキー入力することにより行えますが、下表からは省略しています。

メモ

- プリセットポジションを登録するときは、デジタルフリップ機能を「OFF」にしてから行ってください。「FLIP ON トウロクキンシ」と表示されたら再度設定してください。
- レンズ、回転台の動作中は、ショートカット操作を実行できないことがあります。
- パトロール機能で記憶できるショートカット操作は、1~64、169、170、301~556のみです。
- パトロールPLAY中、動作を止めずに実行できるショートカット操作は、169、170のみです。

システムコントローラーの操作	設定内容
[6] + [5] + [カメラ機能]	AUTO PAN　ON
[6] + [6] + [カメラ機能]	AUTO PAN　OFF
[6] + [7] + [カメラ機能]	AUTO PAN旋回速度を1段階速くする
[6] + [8] + [カメラ機能]	AUTO PAN旋回速度を1段階遅くする
[6] + [9] + [カメラ機能]	AUTO PANスタート位置設定
[7] + [0] + [カメラ機能]	AUTO PANエンド位置設定
[7] + [1] + [カメラ機能]	オートモード(AUTO MODE)　OFF
[7] + [2] + [カメラ機能]	オートモード(AUTO MODE)　SEQ ON
[7] + [3] + [カメラ機能]	オートモード(AUTO MODE)　SORT ON
[7] + [4] + [カメラ機能]	AUTO PAN範囲反転
[7] + [6] + [カメラ機能]	エンドレス旋回(ENDLESS)　ON
[7] + [7] + [カメラ機能]	エンドレス旋回(ENDLESS)　OFF
[7] + [8] + [カメラ機能]	デジタルフリップ(DIGITAL FLIP)　ON
[7] + [9] + [カメラ機能]	デジタルフリップ(DIGITAL FLIP)　OFF
[8] + [0] + [カメラ機能]	ズーム連動パン・チルトスピード(PROPO.P/T) ON
[8] + [1] + [カメラ機能]	ズーム連動パン・チルトスピード(PROPO.P/T) OFF
[8] + [4] + [カメラ機能]	SUPER-DⅢ　ON
[8] + [5] + [カメラ機能]	SUPER-DⅢ　OFF
[8] + [6] + [カメラ機能]	オートフォーカス(AF MODE) AUTO
[8] + [7] + [カメラ機能]	オートフォーカス(AF MODE) NORMAL
[8] + [8] + [カメラ機能]	オートフォーカス起動
[8] + [9] + [カメラ機能]	ホームポジションへ移動
[9] + [0] + [カメラ機能]	画面の白黒制御(BW)　ON
[9] + [1] + [カメラ機能]	画面の白黒制御(BW)　OFF
[9] + [2] + [カメラ機能]	画面の白黒制御(BW)　AUTO
[9] + [3] + [カメラ機能]	カメラID(CAMERA ID)　ON
[9] + [4] + [カメラ機能]	カメラID(CAMERA ID)　OFF
[9] + [5] + [カメラ機能]	エリアタイトル(AREA TITLE)　ON(NESW)
[9] + [6] + [カメラ機能]	エリアタイトル(AREA TITLE)　ON(USER)
[9] + [7] + [カメラ機能]	エリアタイトル(AREA TITLE)　OFF
[1] + [0] + [0] + [カメラ機能]	カメラ位置補正(REFRESH)起動
[1] + [0] + [1] + [カメラ機能] ~ [1] + [6] + [4] + [カメラ機能]	プリセット1~64の撮影場所を記憶する

ショートカット操作について

システムコントローラーの操作	設定内容
[1] + [6] + [5] + [カメラ機能]	パトロール1（PATROL1） PLAY
[1] + [6] + [6] + [カメラ機能]	パトロール1～4（PATROL1～4） STOP
[1] + [6] + [7] + [カメラ機能]	パトロール1（PATROL1） LEARN開始
[1] + [6] + [9] + [カメラ機能]	レンズの絞り（IRIS） OPEN
[1] + [7] + [0] + [カメラ機能]	レンズの絞り（IRIS） CLOSE
[1] + [7] + [1] + [カメラ機能]	電子シャッター（SHUTTER） ON
[1] + [7] + [2] + [カメラ機能]	電子シャッター（SHUTTER） OFF
[1] + [7] + [3] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階速くする
[1] + [7] + [4] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階遅くする
[1] + [7] + [5] + [カメラ機能]	ゲイン調整（AGC） ON
[1] + [7] + [6] + [カメラ機能]	ゲイン調整（AGC） OFF
[1] + [7] + [7] + [カメラ機能]	電子感度アップ（SENS UP） FIX ON
[1] + [7] + [8] + [カメラ機能]	電子感度アップ（SENS UP） FIX OFF
[1] + [7] + [9] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる（FIX）
[1] + [8] + [0] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる（FIX）
[1] + [8] + [1] + [カメラ機能]	電子感度アップ（SENS UP） AUTO ON
[1] + [8] + [2] + [カメラ機能]	電子感度アップ（SENS UP） AUTO OFF
[1] + [8] + [3] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる（AUTO）
[1] + [8] + [4] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる（AUTO）
[1] + [8] + [5] + [カメラ機能]	電源同期位相調整（FINE）1段階上げる
[1] + [8] + [6] + [カメラ機能]	電源同期位相調整（FINE）1段階下げる
[1] + [8] + [7] + [カメラ機能]	180°ターン（パン方向）
[1] + [8] + [8] + [カメラ機能]	クリーニング（CLEANING） ON
[1] + [8] + [9] + [カメラ機能]	クリーニング（CLEANING） OFF
[1] + [9] + [0] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り替え時間を10秒にする
[1] + [9] + [1] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り替え時間を30秒にする
[1] + [9] + [2] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り替え時間を60秒にする
[1] + [9] + [3] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り替え時間を300秒にする
[1] + [9] + [4] + [カメラ機能]	パトロール2（PATROL2） PLAY
[1] + [9] + [5] + [カメラ機能]	パトロール3（PATROL3） PLAY
[1] + [9] + [6] + [カメラ機能]	パトロール4（PATROL4） PLAY
[1] + [9] + [7] + [カメラ機能]	パトロール2（PATROL2） LEARN開始
[1] + [9] + [8] + [カメラ機能]	パトロール3（PATROL3） LEARN開始
[1] + [9] + [9] + [カメラ機能]	パトロール4（PATROL4） LEARN開始
[2] + [0] + [0] + [カメラ機能]	自動追尾 ON
[2] + [0] + [1] + [カメラ機能]	振動補正（STABILIZER）ON
[2] + [0] + [2] + [カメラ機能]	振動補正（STABILIZER）OFF
[2] + [0] + [3] + [カメラ機能]	パン・チルト・ズーム位置表示機能 ON
[2] + [0] + [4] + [カメラ機能]	パン・チルト・ズーム位置表示機能 OFF
[2] + [0] + [5] + [カメラ機能]	アラーム表示機能 ON
[2] + [0] + [6] + [カメラ機能]	アラーム表示機能 OFF
[3] + [0] + [1] + [カメラ機能] ～ [5] + [5] + [6] + [カメラ機能]	プリセット1～256の撮影場所に移動する※ （例）プリセット128→ [4] + [2] + [8] + [カメラ機能]
[6] + [0] + [1] + [カメラ機能] ～ [8] + [5] + [6] + [カメラ機能]	プリセット1～256の撮影場所を記憶する※ （例）プリセット128→ [7] + [2] + [8] + [カメラ機能]

※従来のドーム型監視カメラ（WV-CS850シリーズ、WV-CW860シリーズ、WV-CS550、WV-CS570など）に対して、本操作を行わないでください。誤動作の原因となります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原因・対策	参照ページ
カメラ画像が出ない（暗い）	●カメラは正しく接続されていますか？ご使用のシステムコントローラーの取扱説明書をご確認ください。	–
	●レンズのIRISが閉じられていませんか？ご使用のシステムコントローラーからアイリスリセットを実行してください。	24〜25
	●固定シャッターが設定されていませんか？	26
画像が白っぽい	●レンズのIRISが開いていませんか？	24〜25
	●電子感度アップ設定が固定（FIX）設定になっていませんか？	27
画像の焦点が合わない	●ドームカバー、レンズが汚れていませんか？ドームカバー／レンズの汚れを落としてください。	7
	●オートフォーカスモードがNORMAL設定になっていませんか？	30〜31
	●オートフォーカスでピントが合いにくい被写体を写していませんか？手動操作でピントを合わせてください。	30〜31
画像にノイズが入る	●スリップリングの汚れが考えられます。クリーニング機能を使っていますか？	49
	●カメラは正しく設置されていますか？	10

故障かな!?

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
画像の色が良くない	● ホワイトバランス設定をご確認ください。	28
	● 特別設定メニューで画質の調整を行ってください。	56~58
	● ドームカバー、レンズが汚れていませんか？ドームカバー／レンズの汚れを落としてください。	7
画面がチラつく	● ちらつきが気になる場合は、1/100のシャッターを設定してください。	26
	● SUPER-DⅢ機能を使用している場合は、OFFにしてください。	24~25
残像が出る	● DNR設定をご確認ください。	29
画像が白黒になる	● 本機には、白黒切替機能があります。設定をご確認ください。	29~30
カラー／白黒が頻繁に切り替わる	● 白黒切替レベルと調整時間を調整してください。	29~30
画面に白い点が出る	● PIX OFF機能を使用してください。	57
画面に円形のものが映る（カメラ真下方向撮影時）	● ドームカバーの成形によるもので故障ではありません。	7
メニューが変えられない	● パスワードロック機能が設定されていませんか？	61

症　状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
メニューが開けない	●カメラは正しく接続されていますか？ご使用のシステムコントローラーの取扱説明書をご確認ください。	–
	●カメラの通信設定が正しく行われていますか？	12～14 20～21
パスワードを忘れてしまった	●お買上げの販売店にご連絡ください。	–
白黒画像に切り替わらない	●外部アラーム入力4の設定がBWになっている場合は切り替わりません。設定をご確認ください。	54
パン・チルト・フォーカスが動かない	●カメラは正しく接続されていますか？ご使用のシステムコントローラーの取扱説明書をご確認ください。	–
	●本機には、PAN LIMIT機能があります。設定をご確認ください。	41
	●モーター、レンズの消耗が考えられます。お買上げの販売店にご連絡ください。	–
カメラの動作モード（OFF，SEQ，SORT，AUTO PAN，PATROL，AUTO TRACK）が止まる	●セルフリターン機能をご確認ください。	39
	●アラーム入力設定端子の設定をご確認ください。	53～54
	●モーションディテクター機能のリカバータイムの設定をご確認ください。	50～52

故障かな!?

症　状	原因・対策	参照ページ
カメラの動作モード（OFF，SEQ，SORT，AUTO PAN，PATROL，AUTO TRACK）が変化する	●セルフリターン機能をご確認ください。	39
ポジション設定した場所にカメラが向かない	●特別設定メニューのリフレッシュ機能を行ってください。	58
ポジション設定したとおりの画像になっていない	●プリセットメニュー、シーンファイルにて調整してください。	33～34 37
カメラを水平に向けたとき画面の上側が黒くなる	●異常ではありません。（カメラ内部のカバーが写りこんでいるためです。）	49
自動的にカメラが回りだす	●クリーニング機能がONのときは異常ではありません。設定をご確認ください。	49
	●ノイズによる障害が考えられます。	8、10

電源コードは、ときどき点検してください。

症状	原因・対策
電源コードの被ふくが傷んでいる	●電源コードが傷んでいます。 そのままの状態で使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちにカメラの電源を切り、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源コードの一部が熱い	
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする	

仕様

●基本仕様

項目	仕様
電源	AC100 V　50 Hz/60 Hz
消費電力	83 W
撮像素子	1/4型インターライン転送方式CCD
有効画素数	768（H）×494（V）
走査面積	3.65 mm（H）×2.74 mm（V）
信号方式	NTSC方式
同期方式	内部同期（INT）、多重化垂直ドライブ（VD2）、電源同期（LL）
走査方式	2：1インターレース
走査周波数	水平：15.734 kHz、垂直：59.94 Hz
映像出力	VBS：1.0 V［P-P］/75 Ω（BNCプラグ）
解像度（中心部にて）	水平：540TV本typ.、520TV本以上（カラーモード、RESOLUTION：HIGH時） 570TV本以上（白黒モード） 垂直：350TV本以上（中心部）
最低照度	0.5 lx（カラーモード） 0.04 lx（白黒モード） 電子感度アップOFF AGC HIGH時
ダイナミックレンジ	52 dB typ.（SUPER-DⅢ：ON）
SN比	50 dB以上（AGC：OFF）
使用温度範囲	−40 ˚C ～ +50 ˚C、湿度90 %以下（結露しないこと）※1
防水性	IP66防暴噴流形（IEC60529/JIS C 0920）
寸法	239 mm（直径）×360.5 mm（ドーム径160 mm）
質量	約4.3 kg
仕上げ	本体：アルミダイカスト　焼付塗装（塗装色：ファインシルバー） サンシールド：ASA樹脂　塗装（塗装色：ファインシルバー） ドーム部：透明ポリカーボネート樹脂

※1　常時通電状態でご使用の場合（ただし、カメラの内部温度は－10 ℃以上）

●回転台部

項目	仕様
水平回転範囲	360˚ エンドレス旋回
水平回転動作	マニュアル、オート、マニュアルポジション、シーケンスポジション
水平回転速度※2	マニュアル：約0.065 ˚/s～120 ˚/s　8段階/16段階/64段階 プリセット：最大約400 ˚/s
垂直回転範囲	−5˚ ～ 185˚（水平～真下～水平）（TILT ANGLE設定による）
垂直回転動作	マニュアル、マニュアルポジション、シーケンスポジション
垂直回転速度※2	マニュアル：約0.065 ˚/s～120 ˚/s　8段階/16段階/64段階 プリセット：最大約400 ˚/s

※2　回転速度は、使用するシステムコントローラーによって変わります。

仕様

●レンズ部

ズーム比	30倍（電子ズーム使用時：約300倍）
焦点距離	3.8 mm ～ 114 mm
最大口径比	1：1.4（WIDE）～ 3.6（TELE）
至近距離	1.5 m
絞り範囲	F1.4 ～ 22、Close
画角	水平：1.8°（TELE）～ 52°（WIDE） 垂直：1.4°（TELE）～ 40°（WIDE）

●主な機能

システムコントローラーとのI/F	同軸多重通信、RS485
制御機能	回転台、レンズ、256プリセットポジション回転動作、 ホームポジション、パトロール
AGC	ON (LOW)/ON (MID)/ON (HIGH)/OFF
タイトル（ID）	ON/OFF （プリセットID、カメラID、エリアタイトル：英数記号、カタカナ16文字）
ズームリミット	マニュアル時　約6.0 s（TELE～WIDE）
ズーム倍率制限	1～300倍（30倍以上は電子ズーム）
パスワードロック機能	メニュー全体
フォーカス動作速度	マニュアル時　約10 s（FAR～NEAR、ズームTELE端にて）
オートフォーカス	NORMAL/AUTO（パン・チルト・ズーム連動）
アイリス（IRIS）	ALC（OPEN/CLOSEの出力目標レベルを補正可能）/MANUAL
電子シャッター	OFF（1/60）、AUTO 、1/100、1/250、1/500、1/1 000 1/2 000、1/4 000、1/10 000
電子感度アップ	最大32倍（AUTOまたはFIX）
オートモード	OFF/SEQ/SORT/AUTO PAN/PATROL/AUTO TRACK
オートパンキー	SEQ/SORT/AUTO PAN/PATROL/AUTO TRACK
デジタルフリップ	ON/OFF
SUPER-DⅢ	ON/OFF
モーションディテクター	OFF/MODE1/MODE2
アラーム入出力	4入力（ALARM IN 1～4）、 2出力（ALARM/AUX1、BW/AUX2）
白黒切替	AUTO/ON/OFF
プライバシーゾーン	ON/OFF（ゾーン設定8か所）
パトロール	STOP/PLAY/LEARN
クリーニング	ON/OFF
イメージホールド	ON/OFF
画揺れ補正	ON/OFF
シーンセレクト設定	INDOOR（L）/INDOOR（H）/OUTDOOR（L）/OUTDOOR（H）
言語設定	日本語/英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/スペイン語/ロシア語/中国語

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラーテレビカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

65〜68ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず本機の電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● **保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	カラーテレビカメラ
品　番	WV-CW960
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

Panasonic®

カラーテレビカメラ　WV-CW960　取扱説明書

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-878-410（パナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくときのために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	WV-CW960
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（　　）　ー		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

3TR004112CZA
As1208-2060

Printed in China